

令和 2 年度 事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

令和2年度の事業総括

令和2年度、当財団では年度当初に掲げた基本方針に基づき、4つの重点支援施策（①フォトンバレーセンター事業（光・電子技術活用プロジェクトの推進）、②次世代自動車センター事業（次世代自動車産業に対応した新事業展開支援）、③新産業創出支援事業（産業用ロボット等の導入による生産性向上支援）、④ものづくり販路開拓支援事業、マッチング支援事業（マッチング機会の創出））を中心に、地域企業の発展に向けた各種事業を実施しました。

重点支援施策のうち、フォトンバレーセンター事業及び次世代自動車センター事業については、新たな技術の研究開発やこれまで培ってきた技術力の高度化・高付加価値化等、地域企業が発展していくための支援を実施しました。フォトンバレーセンターでは、A-SAPによる光技術、電子技術を活用した産学官金連携での課題解決等、次世代自動車センターでは固有技術探索チャートを使った自社の技術上の強みの見える化と提案力向上のための試作委託等を通じて、当地域の産業を支援しました。

また、生産性向上や今後見込まれる人手不足といった課題に対処するため、令和2年度より、ロボットやIoT導入支援等、生産性向上のためのワンストップ相談窓口として「スマートものづくり支援デスク」を開設しました。この相談窓口やロボット導入等に係る各種講習会などを通じて、本地域企業のデジタル化、生産性向上を支援しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当地域でも大手メーカーの生産停止やサプライチェーンの毀損により、中小企業は大きな打撃を受けました。企業訪問を通じたヒアリング等により、現在では受注が回復した企業がある一方、いまだに深刻な影響を受けている企業も多く存在していることが分かりました。当財団においても、日々変化するコロナ禍の状況に応じてセミナー等の実施方法や実施時期を見直すとともに、情報提供や相談事業を通じて、地域企業の状況にあった事業展開に努めました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと考えられることから、引き続き、企業の状況に応じたきめ細かな支援を実施してまいります。

目 次

令和 2 年度事業の主な成果指標	P 1
令和 2 年度事業報告	P 5
1 【知る】情報発信	
1 広報事業	《市受託、県補助、8 市町負担金、財団自主》 P 5
2 【解く】相談・コンシェルジュ	
2 相談事業（専門家派遣事業含む）	《市受託》 P 8
3 企業訪問事業	《市受託》 P 9
4 研究会推進事業	《事務局受託》 P 11
3 【興す】創業・新事業展開支援	
5 創業・新事業展開支援事業	《財団自主》 P 14
6 債務保証事業	《財団自主》 P 17
4 【活かす】知財総合支援	
7 知的財産活用推進事業	《市受託》 P 18
8 はままつ知財研究会連携事業	《事務局受託》 P 20
9 特許等出願支援補助事業	《市受託》 P 23
5 【学ぶ】人材育成支援	
10 製造中核人材育成事業	《県補助、8 市町負担金》 P 26
11 現場力向上人材育成事業	《県補助、8 市町負担金》 P 28
12 新規事業育成事業	《県補助、8 市町負担金》 P 30
6 【創る】新事業開発支援	
13 新産業創出支援事業	《市受託》 P 33
14 国等の研究開発事業化支援事業	《国補助》 P 36
15 競争的資金等獲得支援事業	《県補助、8 市町負担金》 P 38
16 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業	《財団自主》 P 39
17 地域産業活性化支援事業	《財団自主》 P 39
18 フォトンバレーセンター事業	
・ ・ ・ 《県・8 市町負担金、企業負担金、県補助、市負担金、国補助》	P 41
19 次世代自動車センター事業	
・ ・ ・ 《県・浜松市負担金、財団自主、会員会費、国補助》	P 54

7 【拓く】販路開拓支援

20	ものづくり販路開拓支援事業	《市受託》	P 63
21	マッチング支援事業	《財団自主、市受託》	P 67
22	海外ビジネス展開支援事業	《市受託》	P 70

令和 2 年度事業の主な成果指標

◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
製品化・事業化件数	36 件	43 件	30 件

※1：令和 2 年 3 月末日時点、※2：令和 3 年 3 月末日時点（以下、同じ）

◎事業別成果指標

1 広報事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
ホームページアクセス件数	52,549 件	60,947 件	50,000 件
メールマガジン配信登録件数	1,381 件	1,489 件	1,450 件

2 相談事業

（相談）

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
相談件数（経営・技術・知財総件数）	2,457 件	2,635 件	2,100 件
経営相談件数	614 件	579 件	
技術相談件数	1,027 件	1,222 件	
知財相談件数	816 件	834 件	

（企業訪問事業）

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
訪問企業数 ※延べ件数	1,042 件	1,317 件	1,000 件
新規訪問企業数	117 社	159 社	200 社

（専門家派遣事業）

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
支援企業数	16 社	22 社	18 社

3 創業・新事業展開事業 ※はままつ起業家カフェ実績

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
相談件数	1,201 件	1,209 件	800 件
起業家件数	114 件	135 件	50 件

4 知的財産活用推進事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
相談件数 ※3	816 件	834 件	700 件
訪問企業数	98 件	53 件	90 件

※3：静岡県発明協会の知財総合支援担当による相談件数を含む

5 特許等出願支援補助事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
特許出願件数（国内）	13 件	8 件	10 件

項目	出願総数	実績	
特許出願登録件数（国内） ※3	67 件	36 件	

※3：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成25年度からの累計

6 人材育成事業

（製造中核人材育成講座）

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
「製造中核人材講座」受講者数	30 名	1 名	30 名
「製造中核人材講座」新規受講社数	7 社	1 社	1 社
「製造中核人材講座」修了者数	29 名	1 名	30 名
「製造中核人材講座」受講者満足度	96%	100%	90%以上

（現場力向上人材育成事業）

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
現場改善実践企業数	2 社	5 社	5 社
「現場改善推進スクール」受講者数	26 名	20 名	20 名
「現場改善推進スクール」受講者満足度	97%	100%	90%以上

（新規事業育成事業）

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	7 件	5 件	5 件
製品化・商品化件数	3 件	2 件	2 件

7 新産業創出支援事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
新規プロジェクト立上げ件数	3 件	1 件	1 件以上
技術連携マッチング件数	10 件	9 件	5 件
産業用ロボット導入企業数	1 社	0 社	3 社
訪問企業数 ※延べ件数	77 社	85 社	50 社

8 国等の研究開発事業化支援事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
「サポイン事業※3」申請件数	5件	0件	1件
「サポイン事業※3」採択件数	5件	0件	1件
企業訪問数	7社	4社	10社

※3：サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）

9 ものづくり販路開拓支援事業（展示商談会出展補助金）

項目		実績		指標
		令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
国内	出展企業数	53社	21社	55社
	商談成立件数	112件	10件	55件
海外	出展企業数	8社	1社	10社
	商談成立件数	5件	0件	10件

10 マッチング支援事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
「新技術・新工法展示商談会※3」商談成立件数	2社	1社	5社
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	2件	3件	5件
マッチング件数	83件	52件	1件

※3：浜松商工会議所連携事業

11 フォトンバレーセンター事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
相談・対応件数	1,896件	1,506件	2,200件
地域企業の製品開発件数	2件	6件	7件
「光・電子技術活用補助金※3」試作・導入件数	6件	6件	5件
A-SAP※4申請件数	15件	39件	20件
A-SAP※4採択件数	8件	10件	7件
技術ニーズマッチング社数	27社	12社	20社
商談成立件数	12件	5件	7件

※3：光・電子技術活用促進事業費補助金（製品開発または生産性向上）

※4：産学官金連携イノベーション推進事業

1 2 次世代自動車センター事業

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
会員入会企業数	342 社	370 社	— 社
訪問企業数 ※延べ件数	162 回	269 回	90 回
・固有技術探索チャート作成	36 回	19 回	20 回
・先行企業訪問調査	34 回	67 回	20 回
・技術ニーズマッチング	33 回	17 回	20 回
・その他（部品ベンチマーク活動 等）	59 回	166 回	30 回
開発支援企業件数（秘密保持契約締結件数）	34 件	31 件	20 件
固有技術探索チャート作成件数	38 件	13 件	10 件
試作品製作企業数	3 社	8 社	14 社

令和 2 年度 事業報告

※金額は令和 2 年度決算額、（ ）内は令和 2 年度予算額、＜＞内は財源

1 【知る】情報発信

1 広報事業

決算額 723,940 円（予算額 1,500 千円）	＜浜松市受託＞
決算額 486,420 円（予算額 800 千円）	＜財団自主＞
決算額 1,400,255 円（予算額 1,653 千円）	＜県補助・8 市町負担金＞

【目的】

財団の企業支援情報及び国、県、市などの中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに各種ツールで提供することにより地域企業を支援する。

【年度総括】

令和 2 年度の広報事業では、年度当初に財団支援施策ガイドを発行し、企業訪問等の際の財団事業説明ツールとして活用した。また、メールマガジンやホームページでの補助金情報やイベント情報の発信に加え、浜松商工会議所の広報媒体を活用した周知を行うなど、財団事業及び各種支援メニューの認知度向上に努めた。さらに、新型コロナウイルス感染症対策に取り組む事例等の情報発信も行い、地域企業の新型コロナウイルス感染症対策の一助となるよう努めた。

令和 3 年度も、地域企業に分かりやすい情報発信を行い、各種施策が多くの企業に活用されるよう、適切な広報を実施する。

【実施内容】

(1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報及び地域企業の研究開発や事業化に有益な情報をホームページ（随時更新）やメールマガジンなどを通じて発信した。紙媒体ツールとしては財団紹介パンフレットの更新及び支援施策ガイドなどを作成した。

ア メールマガジンの配信 ＜広域事業＞

配信日：毎月第 1・第 3 水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関の支援メニューなど

イ 財団紹介パンフレットの発行（年度更新）

発行日：令和 2 年 7 月

部 数：1,000 部

規 格：A4 サイズ、4 頁

内 容：財団の業務全般、概要、組織図など

ウ 支援施策ガイドの発行

＜浜松版＞

発行日：令和 2 年 4 月

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、32 頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

〈県西部広域版〉

発行日：令和 2 年 4 月

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、20 頁

内 容：財団、経済産業省、県西部 7 市町など（浜松市除く）の支援施策及び
成果事例

配 布：県西部 7 市町の製造業者（約 570 社）へ発送

エ 相談事業・マッチングチラシの作成

発行日：令和 2 年 5 月

規 格：A4 サイズ

内 容：各種相談対応、財団の支援内容、財団の特長、企業間マッチングなど
※チラシデータのみ作成

オ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（4 月号）

発行日：令和 2 年 4 月 1 日（水）

部 数：15,000 部

規 格：本文中ページ（表 2 対向）

内 容：令和 2 年度の財団補助金（特許、展示会、海外 FS）紹介

カ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（6 月号）

発行日：令和 2 年 6 月 1 日（月）

部 数：15,000 部

規 格：表 2、本文中ページ（見開き 2 頁）

内 容：財団コーディネーター無料相談、企業間マッチングサポート、スマー
トものづくり支援デスクの紹介

キ ホームページ、メールマガジン配信システム改修

ホームページへのアクセス分析を行い、その結果に基づきホームページの掲
載内容の充実やメルマガにおける配信登録先の情報管理など、システム改修を
通じて、迅速で適切な情報提供に取り組んだ。

〈コロナウイルス感染症に対する情報発信〉

①新型コロナウイルス感染症に対する各種支援施策について

HP 掲載：令和 2 年 4 月 7 日（火）～

国、県、市などの支援施策の紹介

②新型コロナウイルス感染症に対する取り組み事例について

HP 掲載：令和 2 年 6 月 9 日（火）～令和 3 年 3 月 31 日（水）

・地域企業の感染症対策の紹介：5 社

・地域企業の新製品開発の紹介：9 社

ク パブリシティ展開

財団施策メニューや地域企業の新たな取り組み等を報道各社へ投込みし、パ
ブリシティの獲得に向け積極的に対応した。

(2) 企業情報・顧客ニーズ調査把握

既存の企業情報データベース（帝国データバンクの企業情報と当財団コーディネ
ーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース）を活用し、企業のニ
ーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などを推進した。

また、人材育成事業等の受講者アンケートの実施により、事業運営の改善を図っている。アンケートには、事業の内容以外にも、企業の持つニーズ等について記載する欄を設け、マッチング等の要望に応じ、その後の企業訪問等を通して課題の解決を図った。

(3) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の7つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事務局として、中小企業支援等の相互の情報共有や事業連携を推進した。

[参加団体] 浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構

[オブザーバー] (独)中小企業基盤整備機構関東本部浜松イノベーションキューブ
(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター (JETRO 浜松)

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
ホームページアクセス件数	52,549 件	60,947 件	50,000 件
メールマガジン配信登録件数	1,381 件	1,489 件	1,450 件

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

2【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 3,652,564 円（予算額 5,071 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等が抱える経営、技術、人材、情報、知財等の様々な問題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、民間の専門家を派遣し適切な助言を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【年度総括】

相談事業を通じて、地域企業の課題の抽出及び解決に努めた。令和 2 年度は特に、コロナ禍において企業を取り巻く環境が大きく変化したことから、影響をヒアリングしつつ、必要な場合は各種支援策に誘導した。また、課題の内容によっては専門家派遣制度による支援を実施しており、コロナ禍において事業の見直しを行っていききたいという企業のニーズから、事業計画の策定やマーケティングに関する支援を多く実施した。事業計画を策定した企業においては、その実行及び検証が重要となるため、次年度以降もフォローを実施していく。

【実施内容】

様々な問題を抱える中小企業者等に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じた。また、専門的知識と実務経験を要する相談に対しては、相談内容やニーズに即した有資格者等を専門家アドバイザーとして派遣した。また、企業訪問等で相談のあった地域企業の課題に対して、解決先の個別提案（マッチング）を実施した。さらに、地域企業の技術で対応できる可能性の高い大手企業等のニーズ案件を探索して、地域企業とつなげる販路開拓支援を実施した。

(1) 各種相談

・相談件数

項 目	令和元年度 ^{*1}	令和 2 年度 ^{*2}	対前年比
相談件数（経営・技術・知財総件数）	2,457 件	2,635 件	107.2%
経営相談	614 件	579 件	94.3%
技術相談	1,027 件	1,222 件	119.0%
知財相談	816 件	834 件	102.2%

・活動内容件数

項 目	令和元年度 ^{*1}	令和 2 年度 ^{*2}	対前年比
広報	214 件	492 件	229.9%
創業・起業	6 件	4 件	66.7%
知的財産（特許・商標等）	816 件	834 件	102.2%
人材育成	179 件	125 件	75.8%
研究開発・新事業展開	591 件	686 件	125.9%
販路開拓	487 件	196 件	42.1%
専門家派遣	134 件	139 件	110.3%
研究会推進	192 件	226 件	112.4%
その他	911 件	1,011 件	112.3%
内部業務・調整	33 件	98 件	188.5%
活動件数	3,563 件	3,811 件	109.2%

(2) 専門家派遣事業

分 野	令和元年度※1		令和2年度※2	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経 営	14 社	66 回	16 社	77 回
技 術	1 社	5 回	6 社	33 回
知 財	1 社	2 回	一社	一回
合 計	16 社	73 回	22 社	110 回

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
支援企業数（専門家派遣事業）	16 社	22 社	18 社

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

3 企業訪問事業

決算額 1,456,511 円（予算額 1,700 千円） <浜松市受託>

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等（以下「中小企業者等」という。）を積極的に訪問し、経営、技術、人材、情報、知財等の課題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、企業の状況・ニーズを把握し、適切な助言や施策の紹介・活用の支援および企業情報の発信支援を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【年度総括】

令和2年度は、コロナ禍ではあったが、先方の了承を得ながら企業訪問を実施し、前年度を上回る数の企業を訪問した。訪問の中で、特に新型コロナウイルスの影響についてヒアリングを実施し、製造品や取引先による影響度の違い等が判明し、企業ごとに異なる対応が求められていることが分かった。また、これまで訪問したことがなかったり、前回訪問から時間が経過していたりする企業をリストアップし、財団の周知及び課題の抽出に努めた。

令和3年度も企業訪問を積極的に実施することで、地域企業のニーズやシーズを把握し、浜松地域の製造業の現状や特徴をデータベース化するとともに、マッチング支援や地域企業にとって役立つ新たな支援メニューの開発につなげる。

【実施内容】

企業訪問の実施により、企業への御用聞きを行うことで、課題を把握した。また、支援ニーズの聞き取りにより、地域産業の現状を見える化し、施策立案につなげた。財団には、経営・技術・知財とそれぞれの専門分野に詳しいコーディネーターが在籍していることから、企業の課題の内容により、連携して企業訪問を実施した。また、必要に応じて他の産業支援機関や金融機関等とも連携し、企業の課題、ニーズ、技術等を把握することで、各支援施策につなげた。

(1) 「浜松市新産業創出事業費補助金」交付企業に対するアドバイス

「浜松市新産業創出事業費補助金」は、浜松市において戦略的に支援すべきと位置付けている成長6分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）について新技術・新製品等

の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助することで事業化の実現を促し、浜松経済を牽引する成長産業の創出につなげていくことを目的としている補助事業である。当財団は、当該補助金に採択された中小企業に対して、研究開発に関する技術的な支援はもとより、事業化された新技術・新製品等の販路開拓まで、浜松市と一体のフォロー体制で支援を行った。

◎令和２年度「浜松市新産業創出事業費補助金」

申請期間：[1次] 令和２年４月１０日（金）～令和２年５月１１日（月）

[2次] 令和２年７月１日（水）～８月４日（火）

採択企業数：[1次] 20社、[2次] 2社

交付決定額：[1次] 110,983千円（20社）、[2次] 9,000千円（2社）

交付確定額：[1次] 100,867千円（18社）、[2次] 8,995千円（2社）

<交付企業一覧>

1次	分野	補助枠	事業者名
1	次世代輸送用機器	製品開発	(株)マイクロフィックス（浜松市東区）
2		研究開発	(株)イハラ製作所（浜松市浜北区）
3			(株)モリロボ（浜松市中区）
4	健康・医療	製品開発	(株)プレッパーズ（浜松市東区）
5			(株)ポリシス（浜松市浜北区）
6		研究開発	仲山貴金属鍍金(株)（浜松市北区）
7			(株)Magic Shields（浜松市東区）
8	新農業	製品開発	サクラ工業(株)（浜松市東区）《中止》
9	光・電子	製品開発	ヘルツ電子(株)（浜松市北区）
10			(株)アルプスエンジニアリング（浜松市西区）
11			GEE(株)（浜松市北区）
12		研究開発	ATV(株)（浜松市北区）
13	環境・エネルギー	製品開発	(株)ティーアールシー高田（浜松市西区）
14			(株)ナユタ（浜松市東区）
15			(株)エコム（浜松市北区）
16	デジタルネットワーク・コンテンツ	製品開発	(株)アバンセシステム（浜松市南区）《中止》
17			(有)池谷製作所（浜松市中区）
18			(株)カタナコーポレーション（浜松市北区）
19			(株)ルイ・ヨコタフォート（浜松市浜北区）
20			プロダクトリング(株)（浜松市西区）

2次	分野	補助枠	事業者名
1	デジタルネットワーク・コンテンツ	研究開発	(株)週休3日（浜松市中区）
2		研究開発	(株)SPLYZA（浜松市中区）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和２年度※2	令和２年度
企業訪問件数	1,042件	1,317件	1,000件
新規企業数	117社	159社	200社

※1：令和２年３月末日時点、※2：令和３年３月末日時点

4 研究会推進事業

決算額 一円（予算額 一千円）

＜事務局受託＞

※研究会費の2割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各種研究会の事務局として、総会や幹事会、講演会等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【年度総括】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、総会は基本的に書面開催とし、事業計画及び予算の承認を受けた（ソフトウェア産業振興研究委員会については総会未実施）。事業実施にあたっては、参加者の安全性を最優先に考えたうえ、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催の是非を検討し、3密対策を講じるとともに、WEBツールを活用し講演会・幹事会を開催した。しかしながら、視察会をはじめ多くの事業は、浜松市内のクラスター発生や緊急事態宣言の発令などにより、開催中止を余儀なくされた。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の7つの研究会において、当財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ（会員数：31社）

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会や情報交換会を中心に活動をしている。

＜総会＞

開催日：令和2年4月14日（火）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

＜事業内容＞

講演会：中止 ※予定1回

視察会：中止 ※予定1回

定例会：1回 ※予定7回

イ 浜松技術交流プラザ 82（会員数：15社）

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会を中心に活動をしている。

＜総会＞

開催日：令和2年7月29日（水）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

＜事業内容＞

講演会：中止 ※予定2回

視察会：中止 ※予定1回

ウ 都田アソシエイツ（会員数：52社）

研究開発での産学官金連携を目的として都田テクノポリス地域を中心としたものづくり企業の経営者や研究開発部門の管理者が参加し、講演会や視察研修会を中心に活動をしている。

<総会>

開催日：令和2年7月10日（金）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：3回 ※予定5回

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC 研究委員会（会員数：15 社）

ベンチャービジネス、ベンチャーキャピタルの実態及び将来性についての研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会と情報交換会を中心に活動をしている。

<総会>

開催日：令和2年6月30日（火）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：1回 ※予定2回

視察会：中止 ※予定1回

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：24 社）

ものづくり企業の製造現場を対象としたソフトウェア産業に関する調査、研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会と情報交換会を中心に活動をしている。

<総会>

開催日：未実施

<事業内容>

講演会：3回（他研究会との共催）

視察会：未実施

ウ 先端精密技術研究会（会員数：法人 40 社、個人 22 名）

新しい精密技術に関して基礎となる新しい現象や学問、実際の応用例などを中心として情報交換を行い、関連分野の科学と技術の進歩に資することを目的とし、静岡大学や静岡理工科大学の教員が中心となって、講演会と視察研修会を中心に活動をしている。

<総会>

開催日：令和2年10月28日（水）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：4回 ※予定4回

エ 次世代設計・製造構造研究会（会員数：法人 23 社、個人 2 名、学校 3 校）

製造業の経営層が次世代のデジタル技術を取り入れ、経営戦略に反映及び製造業の設計から製造までのプロセスにおける全体の最適化を図ることを目的に、次世代の設計・製造プロセス最適化と技術系に関する情報交換会（例会）の開催と主にスタートアップや人材育成等をテーマとし、意見交換を行う懇談会等の活動をしている。

<総会>

開催日：令和2年6月22日（月）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：3回 ※予定3回

懇談会：事業計画の変更により未実施

3【興す】創業・新事業展開支援

5 創業・新事業展開支援事業

決算額 6,916,150 円（予算額 6,817 千円） <自主財源>

【目的】

浜松地域の中心産業であるものづくり産業はもとより、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携し、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。

【年度総括】

創業支援総合窓口として浜松市・浜松商工会議所と協同で開設した「はままつ起業家カフェ」と連携し、浜松地域の創業希望者のサポートを実施した。コロナ禍という創業者にとって厳しい状況にあったが、オンラインの相談なども受け付け、支援した創業者数は前年度を超えた。また、新たな製品開発を希望する創業者に対しては、当財団のネットワークを活かし、外注先とのマッチングを行う等、当財団の強みを活かした支援も実施した。

【実施内容】

浜松地域の産業基盤である製造業（ソフトウェア業含む）を新たに開業する個人又は開業後 5 年未満の中小企業者に対して、創業時等に係る経費の一部を助成し、浜松市の産業イノベーション構想につながる製造業が起業しやすい環境を整えるとともに、製造業におけるベンチャー企業の発展につなげた。また、新たに創業した個人や事業者に対して、財団及び起業家カフェ、地域支援機関（行政・地域金融機関・商工会など）の創業に関する取り組みを連動させ、地域一丸となり、起業家やベンチャー企業のための成長支援を幅広くサポートした。

<はままつ起業家カフェ実績>

(1) 相談事業

相談者数：900 名（実数） ※令和元年度実績：992 名

相談件数：1,209 件（延べ数） ※令和元年度実績：1,201 件

新規創業者数：135 名（男性 84 名、女性 51 名） ※令和元年度実績：114 名

※製造業 9 名、建設業 4 名、サービス業 61 名、飲食業 12 名、医療・福祉業 11 名、情報通信業 4 名、卸・小売業 15 名、教育・学習支援 8 名、農林漁業 1 名、不動産業 6 名、運輸業 3 名、金融・保険業 1 名

特定創業支援事業申請：91 名 ※令和元年度実績：73 名

事業承継相談者数：14 名（実数）

(2) 補助金事業

ア ものづくり創業支援補助金（市予算 2,500 千円 ※概ね 3 件）

目 的：浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対し、開業に際し必要となる設備費等の経費の一部を助成

受付期間：令和 2 年 4 月 1 日（水）～令和 3 年 3 月 12 日（金） ※随時

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 1,000 千円

対象経費：補助事業のために使用される単価 30 万円以上の機械装置、工具器具、分析装置、専用ソフトウェアの購入・設置、製作費用など

申請件数：1 件
採択件数：1 件
交付決定額：495,180 円
交付確定額：495,180 円

イ 会社設立支援補助金（市予算 2,500 千円 ※概ね 25 件）

目 的：初めて会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）を設立する際に、会社設立までに要する経費の一部を助成

受付期間：会社設立登記完了後 60 日以内か令和 3 年 3 月 31 日（水）のどちらか早い日まで

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 100 千円

対象経費：定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用、会社設立に要する手続きを司法書士等に依頼した場合の報酬等の費用など

申請件数：32 件

採択件数：32 件

交付決定額：2,500,000 円

交付確定額：2,500,000 円

(3) 創業・新事業展開セミナー

開催日：令和 2 年 7 月 18 日（土）

会 場：WEB 開催

講 師：(株)ビューティスマイル（浜松市南区）

代表取締役社長 高橋 繁世 氏

ロボセンサー技研(株)（浜松市北区） 代表取締役 大村 昌良 氏

STERN（浜松市中区） 小崎 綾 氏

内 容：「サラリーマンのための起業の心得」

第 1 部／3 名のケーススタディ

第 2 部／パネルディスカッション

第 3 部／起業のためのプチワーク

受講料：無料

参加者：41 名（定員：70 名）

(4) 起業サロン

開催日：令和 2 年 10 月 22 日（木）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

講 師：(株)Filments（浜松市中区） 代表取締役 深瀬 泰宏 氏

ケーフーズ浜松(株)（浜松市東区） 代表取締役 樽松 朗 氏

内 容：講演／企業体験談（映像制作・食料品製造業で起業）

意見交換会

受講料：無料

参加者：12 名（定員：15 名）

開催日：令和 2 年 12 月 7 日（月）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

講 師：浜松まちなか BOXING & FITNESS 代表 大庭 宏之 氏

クロワッサン&焼き菓子 Annie 代表 原田 真妃 氏

内 容：講演／起業体験談（スポーツフィットネス・パン屋で起業）

意見交換会

受講料：無料

参加者：13名（定員：15名）

(5) 起業実践サロン

開催日：令和3年1月12（火）、19日（火）、26日（火）、2月2日（火）、
9日（火）、16日（火）、3月2日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士）

村木 則予 氏、杉本 光生 氏、荒井 豊 氏 他

内 容：ビジネスプラン作成講座（全7回）

マーケティング、会計基礎 など

受講料：無料

参加者：9名（定員：10名）

(6) 特別講座

開催日：令和2年11月14日（土）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：光産業創成大学院大学 教授 増田 靖 氏

光産業創成大学院大学 教授 藤田 和久 氏

はままつ起業家カフェ 相談員 村木 則予 氏

内 容：ものづくり・ITで起業！

共 催：光産業創成大学院大学

受講料：無料

参加者：10名（定員：12名）

開催日：令和2年11月26日（木）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

講 師：㈱エクセレンスライズ（浜松市浜北区）

デイサービス和彩花 施設長 河合 昇 氏

河合医療福祉法務事務所（浜松市北区） 河合 吾郎 氏

内 容：介護・福祉事業所開業へのステップ！

受講料：無料

参加者：10名（定員：15名）

(7) 起業家交流会

開催日：令和2年6月23日（火）、11月17日（火）

※新型コロナウイルス感染症による影響のため開催中止

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
相談件数	1,201件	1,209件	800件
起業家件数	114件	135件	50件

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

6 債務保証事業

決算額 1,740,634 円（予算額 1,900 千円）

＜財団自主＞

【目的】

地域中小企業が行う技術、新製品の研究開発に係る資金調達の円滑化を図り、研究開発型企業の育成を促進する。

【年度総括】

中小企業が行う新技術、新製品開発の研究開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して債務保証する本制度を引き続き財団ホームページ等で周知した。

【実施内容】

新技術・新製品の開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して、債務保証（債務保証期間 8 年以内、保証債務残高 最大 3 千万円、無担保）を行った。

（1）債務保証制度内容

保証限度額：一企業 30,000 千円以内

利 率：年 1.5%（静岡県制度融資適用の場合）

保証期間：8 年以内

保証料率：0.9%保証限度額

（2）新規債務保証

令和 2 年度：新規債務保証 0 件

（3）債務保証残高

令和 2 年度：債務保証残高 0 円

（4）求償権の回収

対象企業 1 社返済中（年間回収額 120 千円）

【成果指標】

（単位:千円）

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
求償権の回収額	55 千円 (110 千円)	60 千円 (120 千円)	60 千円 (120 千円)

※1：令和元年度決算時点、※2：令和 3 年 3 月末日時点

※（）内は日本立地センター分を含めた回収額

4【活かす】知財総合支援

7 知的財産活用推進事業

決算額 967,041 円（予算額 968 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

企業活動において特許、商標等の知的財産権の重要性は益々高まっていることから、知財活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進するために、特許、商標等の調査、出願・権利取得、権利活用等の知財に関する各種相談への対応、支援を行う。また、中小企業等の知財に関わる人材の育成支援を行う。

【年度総括】

知財相談件数は、前半は新型コロナウイルス感染症の影響もあって前年度および今年度目標を下回るペースとなっていたが、結果的に目標件数を大幅に上回るとともに前年度を超える件数となった。なお、相談件数のうち新規相談者の比率は15%（122件）で、前年度並みとなっている。今後は新規相談件数を増やすための啓発活動にも力を入れていくようにする。

相談内容としては、昨今の商標問題を踏まえての商標出願に関する相談とともに、開発中の自社製品（新型コロナ対策関連製品もあり）の知財保護に関する相談も増えている。また、中小企業の知財意識が向上したこともあって、他社権利の侵害予防対策等に関する相談も増え、なかには特許や商標の侵害警告を実際に受けた案件の相談もあった。さらに、取引先企業、大学との秘密保持契約、共同研究契約等の契約問題に関する相談も増えつつある。これらの相談に対しては、必要に応じて専門家の弁護士、弁理士の意見も聞きながら相談者の知財保護と知財リスク低減のために適切な支援に努めた。

一方、知財の講演会や講習会については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、当初予定していた一部講演会を中止にせざるを得ないなか、講演会テーマ、開催時期、開催方法等の見直しを行い、対面開催、WEB開催、両者のハイブリット開催を使い分けながら適切な手段で開催した。

【実施内容】

(1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化の両面から適切な知財支援を行った。支援においては、当財団知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当（特許庁事業）とが連携し、必要に応じて特許庁事業の専門家派遣制度（弁理士・弁護士やデザイン、ブランドの専門家を派遣）を活用するとともに、当財団の技術・経営コーディネーターとも連携して実施した。この場合、周辺地域の商工会、商工会議所、金融機関などと連携した企業訪問等を実施し、掘り起こしを行うことで新規の知財相談企業数を増やすほか、企業等に出向いての知財講習会を行うことなどにより、知財の啓蒙・啓発にも取り組んだ。

また、特許流通・知財マッチングに関する案件については、静岡県産業振興財団や静岡県特許流通アドバイザーと連携して対応した。

(2) 知財講演会・講習会の開催（市受託）

ア 知財関連法、知財関連判例、中小企業の知財戦略・知財活用等に関する講演会を開催した。

①講演会

開催日：令和3年1月27日（水）
 会 場：WEB開催
 講 師：スズキ㈱（浜松市南区） 知的財産部 部長 阿部 俊明 氏
 内 容：100年の歴史が育んだスズキの知財
 受講料：無料
 参加者：56名（定員：60名）

②講演会

開催日：令和3年3月16日（火）
 会 場：WEB開催
 講 師：響国際特許事務所（愛知県名古屋市）
 中部ブランチ 弁理士 西川 隆記 氏
 内 容：技術の標準化で、事業の差別化を！
 受講料：無料
 参加者：23名（定員：30名）

イ 中小企業等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会（全7回コース）を開催した。

・初心者向け知財基礎講習会

開催日：①令和2年7月31日（金）～令和3年2月26日（金）
 ②令和2年8月7日（金）～令和3年2月12日（金）
 講 師：知財コーディネーター 石井 勉
 共 催：はままつ知財研究会
 受講料：〔浜松市内〕1,000円、〔浜松市外〕2,000円
 はままつ知財研究会会員／無料
 参加者：①9名（定員：10名）
 ②7名（定員：10名）

※新型コロナウイルス感染症を考慮して、2回に分けて開催

（講座内容）

開催日	内 容	会 場
7月31日（金） 8月7日（金）	(1) 知的財産権制度の概要 (2) 特許制度と特許法の概要①	財団セミナー室
8月28日（金） 9月18日（金）	(3) 特許制度と特許法の概要② (4) 実用新案制度の概要 (5) 特許権の事例紹介	財団セミナー室
9月25日（金） 10月9日（金）	(6) 特許権の権利範囲と権利解釈 (7) 特許権の利用関係	財団セミナー室
10月30日（金） 11月13日（金）	(8) 意匠制度の概要 (9) 商標制度の概要 (10) 特許情報調査と特許情報の活用	財団セミナー室
11月27日（金） 12月11日（金）	(11) 研究開発成果の保護について	財団セミナー室
1月29日（金） 1月22日（金）	(12) 著作権制度の概要 (13) 不正競争防止法 (14) 知的財産関連契約	財団セミナー室

2月26日（金） 2月12日（金）	(15) 企業における知財活動と知財戦略について (16) まとめ	財団セミナー室
----------------------	--------------------------------------	---------

ウ 出前知財講習会

・知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を開催した。

①開催日：令和2年9月11日（金）

会 場：静岡県立工業高等学校

対象者：デザイン科1年生

内 容：具体的事例に基づくデザイン活動に関係する知的財産権について

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：44名（生徒：41名、教師：3名）

②第9期自社製品スクール

開催日：令和2年10月21日（水）

会 場：遠鉄会議室

対象者：スクール受講者

内 容：知財基礎セミナー

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：6名

【成果指標】

項目		実績		指標
		令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
①相談対応件数		816件	834件	700件
②企業訪問件数		98件	53件	90件
③専門家派遣件数		95件	43件	50件
④出願支援件数	特許	12件	8件	
	実用新案	2件	6件	
	意匠	1件	3件	
	商標	45件	29件	
⑤講演会・講習会開催回数		14回	16回	10回以上
⑥出前知財講習会開催回数		3回	2回	2回

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む

※指標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

8 はままつ知財研究会連携事業

決算額 一円（予算額 一千円） <事務局受託>

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動等の各種事業を事務局として支援するとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と知財に関わる人材育成に取り組む。

【年度総括】

年度当初は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた知財問題研究部会（IP部会）、知財経営研究部会（CIPO部会）・知財経営塾、知財サロン塾な

どの開催を延期していたが、令和2年8月以降はWEB開催やWEBと対面のハイブリット開催で実施できた。部会の開催は会員企業の知財担当者、弁理士などが幹事、委員として自ら企画・運営しており、企業の知財活動の現場に即したテーマで活動できている。なお、今年度初めて知財経営塾と知財サロン塾の合同開催（大企業の知財部門責任者が中堅・中小企業の知財活動のレベルアップを支援する）を開催したところ好評につき、今後も定期的に開催していく予定である。

【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートした。また、当財団の知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動の向上を図るとともに、知財に携わる人材のレベルアップを図った。

具体的な活動として、同研究会が開催する講演会や知財問題研究部会等の開催をサポートするとともに、当財団と同研究会の共催にて浜松市受託事業の知財講演会、知財講習会を開催した。

(1) 幹事会

開催日：令和2年6月11日（木）

会 場：WEB開催

内 容：令和元年度事業報告および収支決算について
令和2年度事業計画案および収支予算案について 等

開催日：令和3年3月23日（火）

会 場：WEB開催

内 容：令和2年度事業報告および収支決算について
令和3年度事業計画案および収支予算案について 等

(2) 総会

開催日：令和2年6月30日（火）

会 場：書面開催

内 容：令和元年度事業報告および収支決算について
令和2年度事業計画案および収支予算案について 等

(3) 知財問題研究部会（IP部会）

知的財産に関する法制度、判例、企業の知財活動などに関する研究及びディスカッションする場として「知財問題研究部会」を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室+WEB開催

対 象：会員企業の知的担当者、弁理士等

進 行：IP部会長、IP部会員

内 容：企業の知財活動に関する各種課題を持ち寄り、知財コーディネーターと外部有識者の助言を受けながら議論し、解決する。

受講料：無料

参加者：各回30名

開催回	開催日	内容・講師
第81回	7月3日（金）	その知財、いくら取れるか、取られるか？ ～判例から損害賠償額の考え方、相場を読み解く～ 講師：響国際特許事務所中部ブランチ（愛知県豊橋市）弁理士 西川 隆記 氏

第 82 回	11 月 6 日（金）	意匠法の改正ポイントと意匠の活用 講師：特許業務法人藤本パートナーズ（大阪府中央区）副所長弁理士 野村 慎一 氏
第 83 回	1 月 13 日（水）	音楽教室著作権事件について 講師：（株）河合楽器製作所（浜松市中区）知的財産室長 稲葉 達也 氏
第 84 回	3 月 11 日（木）	特許情報の活用について 講師：（一社）発明推進協会（東京都港区）研究所長 扇谷 高男 氏

(4) 知財経営研究部会（CIPO 部会）

企業の経営者、知財部門責任者が抱えている課題、悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場として「知財経営塾」を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 会議室＋WEB 開催

対 象：企業の知的財産部門の責任者等

進 行：CIPO 部会長、知財コーディネーター 石井 勉

受講料：無料

参加者：3 社 4 名（定員：6 名）

開催回	開催日	内容
第 3 回	9 月 15 日（火）	①知財部門の働き方改革とは？ ②知財について、大企業が中小企業に対して支援できることは？
第 4 回	11 月 17 日（火）	①知財部門にもとめられることは？ ②今後の知財活動の方向性と知財戦略
第 5 回	2 月 17 日（水）	①参加企業各社の知財体制等の紹介 ②知財体制強化の取り組み、知財部門のアピール仕方等について意見交換 ※知財サロン塾との合同開催

(5) 知財サロン塾（全 6 回）

企業の知財実務担当者が抱えている課題、悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場として「知財サロン塾」を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室＋WEB 開催

対 象：中小企業等の知財担当者

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

受講料：無料

参加者：5 社 5 名（定員：6 名）

開催回	開催日	内容
第 9 回	8 月 24 日（月）	①コロナ渦における特許出願等の知財業務の進め方について ②著作物の委託契約での著作権の取扱いについて ③社内の特許教育結果の評価の仕方について

第 10 回	10 月 7 日（水）	①自社特許出願技術のマップ化 ②意匠出願と意匠権の活用 ③特許権取得効果の見える化
第 11 回	12 月 9 日（水）	①特許調査基本フロー、特許情報検索ソフト、特許管理ソフト ②将来役に立つ戦略的出願 ③知財訴訟を想定しての準備 ④知財部門（知財担当者）のミッション・方針等の明確化
第 12 回	2 月 17 日（水）	①参加企業各社の知財体制等の紹介 ②知財体制強化の取り組み、知財部門のアピールの仕方等について意見交換 ※知財経営塾との合同開催

9 特許等出願支援補助事業

決算額 3,056,497 円（予算額 4,138 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松地域の中小企業の特許等の出願を促進することにより、中小企業の産業財産権を活用した事業展開を支援し、浜松地域の産業振興を図る。

【年度総括】

令和 2 年度の本補助事業については、国内 17 件、海外 6 件の申請があり、そのうち 21 件を採択した。申請の特徴としては、国内では特許出願、海外では商標出願の申請が多くあったことから、各種啓発活動等を通じた国内での自社製品保護の意識向上及び海外進出に伴う海外でのブランド保護、模倣対策への意識が補助金の申請へとつながったものと考察する。申請者の出願する目的として、特許出願・特許取得による模倣対策とともに自社技術の PR や信用力向上も挙げており、知財を活用した事業展開の意識が高くなっていることを実感する。また、商標出願では、ブランド保護として第三者の商標登録により使用できなくなるリスク回避を意識しているようである。そして、補助金採択企業のフォローアップのため、過去 3 年間の採択者にアンケート調査を行い、この結果をもとに中小企業の知的財産活用が一層促進されるよう支援を行った。さらに、出願後の権利化支援、権利成立後の活用支援なども実施した。

【実施内容】

浜松市内の中小企業、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願および海外における特許出願、実用新案出願、意匠出願、商標出願に対する出願費用の補助を行った。

(1) 特許等出願費補助金

公募期間：[1 次] 令和 2 年 4 月 15 日（水）～令和 2 年 5 月 29 日（金）

：[2 次] 令和 2 年 6 月 1 日（月）～令和 2 年 6 月 30 日（火）

：[3 次] 令和 2 年 8 月 3 日（月）～令和 2 年 8 月 31 日（月）

ア 国内出願補助金（予算配分目安 1,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補 助 率：1/2 以内
 補助金額：上限 150 千円
 対象経費：出願手数料、弁理士費用

イ 海外出願補助金（予算配分目安 2,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれら
 で構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：外国特許庁への出願手数料、国内・現地代理人費用、翻訳費用
 先行技術調査費用など

申請件数：[1 次] 国内 10 件、海外 4 件

[2 次] 国内 7 件、海外 2 件

採択件数：[1 次] 国内 8 件、海外 4 件

[2 次] 国内 7 件、海外 2 件

交付決定額：[1 次] 国内 1,200 千円（8 件）、海外 1,076 千円（4 件）

[2 次] 国内 969 千円（7 件）、海外 850 千円（2 件）

交付確定額：[1 次] 国内 1,047 千円（7 件）、海外 649 千円（3 件）

[2 次] 国内 969 千円（7 件）、海外 352 千円（2 件）

※3 次募集（海外特許）は申請なし

< 国内出願補助金 >

（単位：円）

1 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	第一工業㈱ （浜松市東区）	特許	インサートボルト	150,000
2	アーモンド㈱ （浜松市中区）	特許	キーレス AI による次世代暗号 化技術の発明	150,000
3	㈱エフノート （浜松市北区）	特許	電子楽器におけるサウンドの 発音手法	150,000
4	ダブルネスト （浜松市中区）	特許	3次元地図生成装置および3次 元地図生成プログラム	150,000
5	㈱シルバコンパス （浜松市中区）	特許	非接触体温測定の結果からゾー ン分けを行う無人案内システム	150,000
6	(有)クロマニヨン （浜松市中区）	特許	バスなどの移動体の窓枠に設 置する映像システムおよび制 御技術	中止
7	㈱源流産業 （浜松市南区）	実用 新案	フライパン	150,000
8	ロボセンサー技研㈱ （浜松市北区）	特許	センサー構造及びセンサユニ ット	147,000
計				1,047,000

2 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
9	ヤマキ種苗園 （浜松市浜北区）	特許	陰樹の栽培方法	150,000

10	内田工業(株) (浜松市北区)	特許	コレチャック装置	150,000
11	(株)シェルタージャパン (浜松市東区)	特許	就寝室兼用シェルター	102,000
12	遠州工業(株) (浜松市南区)	実用 新案	ポール盤用安全カバー	117,000
13	(株)ティーエス (浜松市東区)	特許	ギア加工機搬送自動補正システム	150,000
14	アツミ工業(株) (浜松市西区)	特許	浜名湖の「つれるら」による AI 釣果予想	150,000
15	(株)ゼロワン (浜松市中区)	特許	空間モニタリングシステムの 発明	150,000
計				969,000

＜海外出願補助金＞

(単位:円)

1 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)エコム (浜松市北区)	商標	「ecoNext」	244,000
2	(株)エフノート (浜松市北区)	商標	「EFNOTE」	192,000
3	(株)SPLYZA (浜松市中区)	商標	「Lecta」	中止
4	ロボセンサー技研(株) (浜松市北区)	商標	「ROBOSENSOR」	213,000
計				649,000

2 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
5	(株)丸文製作所 (浜松市中区)	特許	蒸気土壌消毒製造販売	191,000
6	(株)ブルーニングハー ツ (浜松市浜北区)	商標	「SEA FALCON」	161,000
計				352,000

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
特許出願件数 (国内)	13 件	8 件	10 件

項目	出願総数	実績	
特許出願登録件数 (国内) ※3	67 件	36 件	

※1：令和 2 年 3 月末日時点、※2：令和 3 年 3 月末日時点

※3：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成 25 年度からの累計

5【学ぶ】人材育成支援

10 製造中核人材育成事業

決算額 2,408,424 円（予算額 2,624 千円） <県補助・8市町負担金>

【目的】

地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程等を見通した現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

【年度総括】

令和2年度の製造中核人材育成講座は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、協力企業ならびに受講者、受講企業への感染防止のため、当該事業を次年度に延期することとした。しかし、地域企業における人材育成に対するニーズを考慮し、特に重要な製造現場工程や今年度新たに開催を予定していた講座を加えたミニ講座を実施した。また、経営面でも中核を担う人材を育成するため、コロナ禍において関心が高まっていたBCP策定やテレワークに関しても講座を実施した。BCP策定入門講座では、意識啓発だけでなく、策定体験を織り交ぜた実践的なセミナーとして開催し、テレワーク導入セミナーにおいても、講義だけではなくワークショップ形式で、個々の事情に合わせた支援を行った。

令和3年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、WEB等も用いて地域企業の課題やニーズを把握し、中核人材育成のための適切な支援を実施していく。

【実施内容】

浜松地域の輸送用機器産業を中心とした基盤製造技術の座学と現場見学や現場実習をセットにしたスタイルで講座を開催する。

※令和2年度の当該事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により代替案で実施した。

(1) 製造中核人材育成講座

開催日：令和2年6月3日（水）～11月中旬（全23回）《次年度へ延期》

会場：スズキ歴史館（浜松市南区）、愛知製鋼㈱ 知多工場（愛知県東海市）、ヤマハ発動機㈱（磐田市）、㈱木村铸造所 御前崎工場（御前崎市）、浜松商工会議所会館、スズキ㈱ 湖西工場（湖西市）、浜松工業技術支援センター（浜松市北区）、イオインダストリー㈱（湖西市）、西誠㈱（浜松市西区）、㈱豊田自動織機 高浜工場（愛知県高浜市）、㈱エム・エス・ケー（浜松市浜北区）、㈱オーミ（磐田市）、藤本工業㈱根洗工場（浜松市北区）、㈱山田 豊田工場（磐田市）、㈱丸山コーポレーション（浜松市南区）、ポリテクカレッジ浜松（浜松市南区）、浜松テクノカレッジ（浜松市東区）、㈱ユニバンス（湖西市）、トクラス㈱（浜松市西区）、浜松熱処理工業㈱ 細江工場（浜松市北区）等

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者：一社一名（定員：30名、申込：一名）

[県西部地域] 一社一名、[県西部地域外] 一社一名

共催：浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町、浜松工業技術支援センター、浜松商工会議所

(2) 令和2年度「製造中核人材育成講座」運営委員会

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：令和2年度活動報告、意見交換

参加者：スズキ(株)、ヤマハ発動機(株)、(株)ユニバンス、イオインダストリー(株)、浜松市、浜松工業技術支援センター、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松

(3) 令和2年度「製造中核人材育成講座」アフターフォロー企業見学会

開催日：製造中核人材育成講座の実施がないため未実施

会 場：「製造中核人材育成講座」受講生企業等

対 象：「製造中核人材育成講座」受講生（平成29～31年度卒業生を予定）

内 容：現場改善などで先進的・特徴的な取り組みをしている企業を見学

受講料：無料

参加者：一名

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響における代替事業

ア 中核人材育成ミニ講座

開催日：第1回／令和2年12月22日（火）

第2回／令和3年1月26日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構、大手企業

内 容：座学／現場リーダーの心得（関ものづくり研究所）

現場見学／ロボット活用と新事業への展開（藤本工業(株)）

受講料：[県西部地域] 2,000 円、[県西部地域外] 4,000 円

参加者：6社7名（定員：10名、申込：11名）

[県西部地域] 5社5名、[県西部地域外] 1社2名

4社5名（定員：10名、申込：5名）

[県西部地域] 3社4名、[県西部地域外] 1社1名

イ 中小企業のためのBCP策定入門講座

開催日：①令和2年9月24日（木）

②令和2年11月10日（火）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：BCPの必要性と策定のポイント、BCP策定体験、事業継続力強化計画への活用など

受講料：[県西部地域] 3,500 円、[県西部地域外] 7,000 円

参加者：①8社8名（定員：20名、申込：9名）

[県西部地域] 8社8名、[県西部地域外] 一社一名

②10社11名（定員：20名、申込：13名）

[県西部地域] 10社11名、[県西部地域外] 一社一名

専門家派遣：5社31回

※BCPの策定・運用を実践する意欲のある企業については、専門家を派遣しアドバイスをを行った。

ウ 中小企業のためのテレワーク導入セミナー（全2回）

開催日：令和2年11月4日（水）、5日（木）

会 場：WEB開催

講 師：あまねキャリア工房（東京都品川区） 代表 沢渡 あまね 氏

水谷マネジメントオフィス（浜松市東区） 代表 水谷 拓郎 氏
 We will accounting associates(株)（浜松市中区） 代表 杉浦 直樹 氏
 内 容：1 日目／経営課題解決のためのテレワーク導入・活用ワークショップ
 2 日目／テレワークに必要な組織体制と就業規則の整備
 受講料：〔県西部地域〕2,000 円、〔県西部地域外〕4,000 円
 参加者：10 社 13 名（定員：15 名、申込：13 名）
 〔県西部地域〕10 社 13 名、〔県西部地域外〕一社一名

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
「製造中核人材講座」受講者数	30 名	一名	30 名
「製造中核人材講座」新規受講社数	7 社	一社	一社
「製造中核人材講座」修了者数	29 名	一名	30 名
「製造中核人材講座」受講者満足度	97%	－%	90%以上
「製造中核人材育成ミニ講座」企業訪問数※3	一社	0 社	一社
BCP 策定企業数※3	一社	5 社	一社

※1：令和 2 年 3 月末日時点、※2：令和 3 年 3 月末日時点

※3：新型コロナウイルス感染症の影響における代替事業

1 1 現場力向上人材育成事業

決算額 2,250,725 円（予算額 2,352 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

生産リードタイム短縮や生産性向上等の現場力強化に必要な現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成する。

【年度総括】

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していたセミナー等の開催時期や開催手法を再度検討、変更して対応した。「デジタルものづくり中核人材育成スクール」「高付加価値の現場をつくる改善推進スクール」については、実習を伴う事や受講者同士の意見交換が重要なことから、ウイルス感染防止策を講じた上、従来通りの集合研修形式で開催した。両スクールとも生産性向上に係る取り組みへの関心は高く、コロナ禍においても定員通りの申し込みがあり、受講企業の中には社内のデジタル化を推進することで、現場改善（作業効率が大幅に向上）を図ることができた企業もあった。また、延期した事業については WEB 開催を基本とし、対応可能な講師に変更した上で実施した。

今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から企業訪問を控えたが、令和 3 年度は WEB を中心として課題やニーズを掘り起こし、個別の支援にもつなげていく。

【実施内容】

現場力向上に必要な基礎的な現場改善知識や手法、昨今の地域中小企業の課題である人材不足や働き方改革への対応、経営者層、管理者層、現場担当者層の各層に求められるスキル向上を目的としたセミナー、講座を開催した。また、講座参加企業を対象に財団コーディネーターと外部アドバイザー派遣を実施し、伴走型の支援を行った。

(1) 経営者層・管理者層向け現場力向上講座

ア 中小企業のための現場改善セミナー

開催日：令和2年12月15日（火）

会 場：WEB 開催

講 師：合同会社おもてなし創造カンパニー（神奈川県藤沢市）

代表 矢部 輝夫 氏

※元・(株)JR 東日本テクノハート TESSEI おもてなし創造部長

内 容：どんな会社でもできる“奇跡の職場”のつくり方

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：41 社 52 名（定員：100 名、申込：56 名）

[県西部地域] 38 社 48 名、[県西部地域外] 3 社 4 名

イ 社内の風通しを良くするセミナー

開催日：令和3年2月24日（水）

会 場：WEB 開催

講 師：あまねキャリア工房（東京都品川区） 代表 沢渡 あまね 氏

内 容：社内の風通しを良くする必要性と手法

受講料：[県西部地域] 4,000 円、[県西部地域外] 8,000 円

参加者：7 社 9 名（定員：25 名、申込：11 名）

[県西部地域] 7 社 9 名、[県西部地域外] 一社一名

(2) 現場担当者向け現場力向上講座

ア 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール（全5回）

開催日：令和2年9月28日（月）～10月26日（月）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：関ものづくり研究所（浜松市北区） 代表 関 伸一 氏

内 容：現場改善に係る基礎的講座

受講料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者：12 社 20 名（定員：20 名、申込：20 名）

[県西部地域] 12 社 20 名、[県西部地域外] 一社一名

イ デジタルものづくり中核人材育成スクール（全5回×2回）

開催日：①令和2年9月1日（火）～10月13日（火）

②令和2年11月20日（金）～1月15日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏 他

内 容：デジタルエンジニアリングの基礎（3D 設計、IoT 体験）

参加料：[県西部地域] 25,000 円、[県西部地域外] 50,000 円

参加者：①9 社 9 名（定員：10 名、申込：9 名）

[県西部地域] 9 社 9 名、[県西部地域外] 一名一名

②10 社 10 名（定員：10 名、申込：10 名）

[県西部地域] 10 社 10 名、[県西部地域外] 一社一名

ウ 中小製造業現場担当者座談会

開催日：令和3年1月28日（木）、令和3年3月29日（月）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室、会議室

内 容：現場担当者同士による問題・課題解決を図るディスカッション

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 無料

参加者：4社4名（定員：5名程度、申込：5名）
 [県西部地域] 4社4名、[県西部地域外] 一社一名
 2社2名（定員：5名程度、申込：4名）
 [県西部地域] 2社2名、[県西部地域外] 一社一名

(3) 全職位向け現場力向上講座

ア 現場力を高めるチームワーク向上講座

開催日：令和3年3月9日（火）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

内 容：コミュニケーション力の向上を図るワークショップ

受講料：[県西部地域] 5,000 円、[県西部地域外] 10,000 円

参加者：4社6名（定員：10名、申込：6名）

[県西部地域] 3社5名、[県西部地域外] 1社1名

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
現場改善実践企業数	2社	5社	5社
「現場改善推進スクール」受講者数	26名	20名	20名
「現場改善推進スクール」受講者満足度	97%	100%	90%以上
企業訪問数	7社	2社	30社以上

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

1.2 新規事業育成事業

決算額 1,004,116 円（予算額 2,103 千円） <県補助・8市町負担金>

【目的】

自社または個人の強みを生かした商品の企画・開発をきっかけに、下請けからの脱却につながる商品が創出される地域にする。

【年度総括】

令和2年度は、新製品・新サービスのアイデア創出と販売戦略の立案を目的とした人材育成事業を実施した。本事業の中核である「自社製品スクール」では、自社の強みを活かした新製品アイデアの創出を促進し、成果発表会において過去受講生等も交えてブラッシュアップを行った。また、「デザイン経営実践ワークショップ」等の講座については、新型コロナウイルス感染防止のため、WEB講座に切り替えて開催した。オンラインでのワークショップは参加者のITスキルに依存する部分もあり、使用するアプリケーションの選定や事前レクチャーの必要性など課題が明確となった。さらに、過年度「自社製品スクール」に参加した企業がクラウドファンディングに挑戦し、目標金額を大幅に上回る支援を得た事例も生まれた。

令和3年度も自社製品の必要性などを啓発するとともに、具体的な新製品・新サービスの創出と販売戦略の立案支援に努めていく。

【実施内容】

ワークショップで新しいアイデアを出すことを体験し、スクールでアイデアから新製品・サービスを試作し、クラウドファンディングやビジネスコンテスト等に挑戦す

ることで、参加者が継続して新製品・サービスを生み出していくためのきっかけを提供した。また、新規事業を育成、発展させていくために必要な知識を分析、戦略、発信といった様々な角度から習得するため、市場の要望に応じて新製品・サービスを改良し、売れるための仕組みを構築する講座を開催した。

(1) 新しい製品・サービスを作り出す人材の育成

ア デザイン経営実践ワークショップ

開催日：令和2年7月21日（火）

会 場：WEB 開催

対 象：中小企業の経営者、新規事業責任者、商品企画の担当者、起業者、デザイナー

講 師：慶応義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科 富田 欣和 氏

内 容：既成概念にとらわれない考え方を学び、新しい製品・サービスのアイデアを出す体験

受講料：[県西部地域] 2,000 円、[県西部地域外] 4,000 円

参加者：11 社 14 名（定員：20 名、申込：15 名）

[県西部地域] 8 社 11 名、[県西部地域外] 3 社 3 名

イ 第9期「自社製品スクール」

＜スクール（4日間）＞

開催日：令和2年10月8日（木）～11月13日（金）

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
参加企業の工場

対象者：中小企業の経営者、新規事業責任者、下請けから脱却したい方、商品企画の担当者、起業家

講 師：㈱リバーランズ・コンサルティング（三島市） 坂井 正徳 氏

内 容：ファシリテーターとの対話による事業計画と試作品の製作

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者：4 社 5 名（定員：5 名、申込：5 名）

[県西部地域] 4 社 5 名、[県西部地域外] 一社一名

＜フォローアップ2日間＞

開催日：①令和2年12月16日（水）、②令和3年3月26日（金）

場 所：①㈱榛葉鉄工所掛川工場（掛川市）、②エイケン工業㈱（御前崎市）

参加者：①4 社 5 名 [県西部地域] 4 社 5 名

②3 社 3 名 [県西部地域] 3 社 3 名

＜成果発表会＞

開催日：令和3年1月27日（水）

場 所：グランドホテル浜松

対象者：卒業生、発表者の所属先の社員

内 容：自社製品スクールの事業計画と試作品の成果発表

参加者：12 社 12 名（定員：25 名、申込：13 名）

[県西部地域] 12 社 12 名、[県西部地域外] 一社一名

＜自社製品スクール卒業生工場視察＞

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

場 所：卒業生の工場3か所

対象者：スクール卒業生

内 容：卒業生の工場視察及び試作品の進捗状況の報告

参加者：一社一名（定員：20名、申込：一名）

〔県西部地域〕一社一名、〔県西部地域外〕一社一名

(2) ビジネスを大きくする人材の育成

ア Tech Structure を学ぶワークショップ

開催日：令和2年8月26日（水）

会 場：WEB 開催

対 象：中小企業の経営者、管理者、企画担当者、開発担当者

講 師：Co-cS(株)（東京都千代田区） 近田 侑吾 氏

内 容：技術と市場をつなげる Tech Structure について学び、実践するためのワークショップ

受講料：〔県西部地域〕1,000 円、〔県西部地域外〕2,000 円

参加者：6 社 9 名（定員：20 名、申込：9 名）

〔県西部地域〕6 社 9 名、〔県西部地域外〕一社一名

イ ヒット商品から学ぶ講座

開催日：令和3年2月22日（月）

会 場：WEB 開催

対 象：中小企業の経営者、管理者、企画担当者、開発担当者

講 師：(株)キャストム（広島県福山市） 池田 真一 氏

内 容：中小企業の BtoC ヒット商品開発の考え方事例、戦略

受講料：〔県西部地域〕10,000 円、〔県西部地域外〕20,000 円

参加者：35 社 41 名（定員：50 名、申込：46 名）

〔県西部地域〕30 社 36 名、〔県西部地域外〕5 社 5 名

ウ デジタルマーケティング基礎講座

開催日：令和3年2月19日（金）

会 場：WEB 開催

対 象：中小企業の経営者、管理者、企画担当者、開発担当者

講 師：新大陸（浜松市中区） 代表取締役 CEO 鈴木 宏佳 氏

(株)Magic Shields（浜松市東区） 代表取締役 下村 明司 氏

内 容：中小企業こそ利用すべき SNS など、安価ですぐに活用できるマーケティングの手法について学ぶ講座

受講料：〔県西部地域〕2,000 円、〔県西部地域外〕4,000 円

参加者：25 社 28 名（定員：50 名、申込：32 名）

〔県西部地域〕25 社 28 名、〔県西部地域外〕一社一名

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	7 件	5 件	5 件
製品化・商品化件数	3 件	2 件	2 件
企業訪問数	22 社	3 社	30 社

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

6【創る】新事業開発支援

1 3 新産業創出支援事業

決算額 2,977,423 円（予算額 5,174 千円） <浜松市受託>

【目的】

市場ニーズに応える製品・技術開発を推進するため、企業間連携をはじめ幅広い分野の情報収集やマッチング機会の創出を行う。また、複合的な産業構造への転換のため、金融機関や浜松商工会議所等と連携し、成長が見込まれる新たな産業分野への参入を促進させて、新たな成長産業の集積地を目指す。

【年度総括】

令和 2 年度は、これまで取り組んできたロボット導入の支援に加え、IoT 導入等も含めた、生産性向上のための総合的なワンストップ相談窓口として、スマートものづくり支援デスクを開設した。スマートものづくり支援デスクでは工程の自動化や見える化、生産管理の方法等の各種相談に応じ、ロボットや IoT 導入の検証等の支援を実施した。また、産業用ロボット教示スクールやロボットプログラミング講習会等、ロボット操作や専門的知識に関する講座についても、浜松テクノカレッジやポリテクカレッジ浜松等の外部機関の協力も得ながら実施し、地域企業のロボット導入、活用等に向けた支援を行った。

地域企業にヒアリングする中では、景気悪化のために、数百万円からのロボットシステムの導入が控えられた一方、数万円から始められる IoT に関心を示す企業が増加した。

令和 3 年度は、IoT に関する講座等を増やし、中小企業でも手軽に始められる製造業のデジタル化を推進していく。

【実施内容】

平成 29 年度から取り組んでいる「産業用ロボット」を大テーマとし、ロボットシステムインテグレータ（以下、SIer）や、ロボットを動かせる人材の育成に主眼を置き、ロボット導入を検討している企業や SIer の育成に取り組む中小企業を支援した。

また、令和 2 年 4 月には、新たにロボットや IoT 導入を支援するためのワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」を財団内に設置し、中小製造業者の生産性向上に関する課題の相談対応や各支援機関への橋渡しを行うために、コーディネーターを配置した。

(1) IoT・ロボットセミナー ～使える IoT で、つながる向上～

開催日：令和 3 年 1 月 22 日（金）

会 場：WEB 開催

内 容：IoT との組み合わせによる産業用ロボットに関する最新動向、IoT と産業用ロボットの活用事例、今後の展望など

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：36 社 47 名（定員：80 名、申込：55 名）

[市内] 29 社 38 名、[市外] 7 社 9 名

(2) ロボット操作方法の学習会「産業用ロボット教示スクール」

※浜松テクノカレッジと共同開催

<第 1 回>

開催日：令和 2 年 8 月 20 日（木）～9 月 10 日（木）

講 師：(株)アラキエンジニアリング（浜松市中区）代表取締役 荒木 弥 氏

協 力：(株)エイシンフォニー（磐田市）、藤本工業(株)（浜松市浜北区）、(株)東洋鐵工所（浜松市東区）、静岡県立浜松技術専門校（浜松テクノカレッジ）

受講料：15,400 円

参加者：12 社 12 名（定員：12 名、申込：31 名）

〔市内〕10 社 10 名、〔市外〕2 社 2 名

<第 2 回>

開催日：令和 3 年 1 月 28 日（木）～2 月 25 日（木）

講 師：(株)アラキエンジニアリング（浜松市中区）代表取締役 荒木 弥 氏

協 力：羽立工業(株)（湖西市）、藤本工業(株)（浜松市浜北区）、(株)東洋鐵工所（浜松市東区）、静岡県立浜松技術専門校（浜松テクノカレッジ）

受講料：15,400 円

参加者：10 社 11 名（定員：12 名、申込：19 名）

〔市内〕7 社 8 名、〔市外〕3 社 3 名

・講座内容（全 4 回）

開催日	内容	場所
8 月 20 日（木） 1 月 28 日（木）	産業用ロボットの概要と安全に取り扱うための知識（講義）	(株)東洋鐵工所
8 月 27 日（木） 2 月 4 日（木）	産業用ロボットの教示作業の知識と操作（実習：基本編）	(株)東洋鐵工所
9 月 3 日（木） 2 月 18 日（木）	産業用ロボットの教示作業の知識と操作（実習：応用編）	(株)東洋鐵工所
9 月 10 日（木） 2 月 25 日（木）	ロボットシステムで課題を解決するためのワークショップ	浜松テクノカレッジ
	ロボットシステム導入企業現場見学ツアー	第 1 回：(株)エイシンフォニー 第 2 回：羽立工業(株)

(3) SIer 育成講座「密」を避ける製造現場の未来をつくる SIer という仕事」

SIer としての知識・ノウハウや国の SIer 育成に関する動向の解説を行い、域内に少ない SIer の育成を行った。

<第 1 回>

開催日：令和 2 年 8 月 4 日（火）、6 日（木）

会 場：WEB 開催

講 師：(株)日本設計工業（浜松市北区）社長付特命部長 栗原 弘明 氏

(株)ブリッジ・ソリューション（大阪府大阪市）代表取締役 兼 （一社）i-RooBO Network Forum 会長 坂本 俊雄 氏

IDEC ファクトリーソリューションズ(株)（愛知県一宮市）

セーフティ推進室 岡田 和也 氏

内 容：1 日目／産業用ロボット導入ステップとポイント

2 日目／リスクアセスメントの概要と演習

受講料：〔市内〕10,000 円、〔市外〕20,000 円

参加者：5 社 9 名（定員：10 名、申込：10 名）

〔市内〕4 社 7 名、〔市外〕1 社 2 名

<第2回>

開催日：令和3年2月16日（火）、19日（金）

会 場：㈱日本設計工業（浜松市北区）

講 師：㈱日本設計工業 社長付特命部長 栗原 弘明 氏

㈱松下工業（磐田市） 専務取締役 松下 晴彦 氏

高松電機㈱（浜松市東区） 浜松事業本部 部長 鈴木 弘樹 氏

内 容：1日目／産業用ロボット導入ステップとポイント

2日目／協働ロボット勉強会

受講料：[市内] 9,000 円、[市外] 18,000 円

参加者：8社8名（定員：10名、申込：8名）

[市内] 8社8名、[市外] 一社一名

(4) ロボットプログラミング講習会

開催日：令和2年10月21日（水）、22日（木）

会 場：ポリテクカレッジ浜松

講 師：浜松職業能力開発短期大学校 准教授 寺田 憲司 氏

内 容：ロボットプログラミングの概要・基礎（全2回）

受講料：[市内] 9,500 円、[市外] 19,000 円

参加者：9社9名（定員：9名、申込：11名） ※先着順

[市内] 7社7名、[市外] 2社2名

(5) ロボット周辺装置の機械設計講習会

開催日：令和2年11月16日（月）～11月18日（水）

会 場：ポリテクカレッジ浜松

講 師：ポリテクカレッジ浜松 非常勤講師 石代 義彦 氏

㈱日本設計工業 社長付特命部長 栗原 弘明 氏

内 容：設計プロセス・3DCAD 概要、モデリング・設計検証、ロボット周辺システム設計への応用（全3回）

受講料：[市内] 22,000 円、[市外] 44,000 円

参加者：8社8名（定員：10名、申込：9名）

[市内] 6社6名、[市外] 2社2名

(6) ロボットシステム向け PLC 講習会

開催日：令和2年12月3日（木）、4日（金）

会 場：ポリテクカレッジ浜松

講 師：ポリテクカレッジ浜松 准教授 寺田 憲司 氏

内 容：PLC の概要・基礎プログラム、PLC による機械制御（全2回）

受講料：[市内] 9,500 円、[市外] 19,000 円

参加者：9社9名（定員：9名、申込：9名） ※先着順

[市内] 8社8名、[市外] 1社1名

開催日：令和3年3月17日（水）、18日（木）

会 場：ポリテクカレッジ浜松

講 師：ポリテクカレッジ浜松 准教授 寺田 憲司 氏

内 容：PLC の概要・基礎プログラム、PLC による機械制御（全2回）

受講料：[市内] 9,500 円、[市外] 19,000 円

参加者：9社9名（定員：9名、申込：9名） ※先着順

[市内] 8社8名、[市外] 1社1名

(7) ロボット導入企業現場見学ツアー

開催日：令和2年12月9日（水）

会 場：花の舞酒造(株)（浜松市浜北区）、ユニクラフトナグラ(株)（湖西市）

講 師：協立電機(株)（浜松市東区）第一営業部浜松支店 齋藤 潤 氏

内 容：ロボット導入企業の現場見学

受講料：[市内] 1,000 円、[市外] 2,000 円

参加者：8 社 9 名（定員：10 名、申込：10 名） ※先着順

[市内] 7 社 8 名、[市外] 1 社 1 名

(8) ワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」

ロボットやIoT 導入などの生産性向上に関する課題の相談や各支援機関への橋渡しを行うコンシェルジュ機能を担うために、ワンストップ相談窓口を財団内に設けて、地域支援機関と連携を図りながら中小企業を支援した。

設 置 日：令和2年4月1日（水）

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構内

内 容：ロボットやIoT 導入の相談、地域支援機関等への紹介など

スタッフ：チーフデスク、技術コーディネーター1 名、アドバイザー2 名

連携機関：静岡県、浜松ロボット産業創成研究会（浜松商工会議所）、浜松

地域中小ものづくり企業IoT 化推進協議会、浜松テクノカレッジ、

ポリテクカレッジ浜松、浜松工業技術支援センター など

相談実績：ロボット 22 社 24 件、IoT21 社 27 件 ※令和3年3月末時点

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
新規プロジェクト立上げ件数	3 件	1 件	1 件以上
技術連携マッチング件数	10 件	9 件	5 件
産業用ロボット導入企業数	1 社	0 社	3 社
訪問企業数 ※延べ件数	63 社	85 社	50 社

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

1 4 国等の研究開発事業化支援事業

決算額 181,339,897 円（予算額 192,241 千円）

＜国補助＞

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市などの各種競争的資金を活用して、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を支援する。

【年度総括】

前年度より継続しているサポイン事業の6 案件について、事業管理機関として各種管理業務の遂行、関係機関との調整等を行い、令和2 年度も事業を完了した。また、次年度に継続する5 案件についても、滞りなく事業が継続できるように申請支援を行った。一部、プロジェクトの進捗や申請業務等が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた企業もあったが、関東局と調整のうえ計画変更等の対応を実施した。

令和3 年度は、サポイン事業が終了したプロジェクトのフォローアップを強化し、中小企業の事業化を推進するとともに、令和4 年度に向けた新規案件の掘り起こし図っていく。

【実施内容】

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業） ※国補助事業

サポイン事業の事業管理機関として、「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律」の認定を受けた中小企業の基盤技術の高度化を目的とする産学官による研究開発事業を支援した。

事業管理機関としての支援

補助金交付申請総額：193,104 千円／6 件（間接経費含む）

補助金交付決定総額：192,278 千円／6 件

補助金交付確定総額：181,339 千円／6 件

(ア) エネルギー効率改善に寄与する電解水を用いたスケール析出抑制除去装置の開発

研究機関：イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株)（浜松市浜北区）
静岡大学

実施期間：平成 30 年度～令和 2 年度 <継続／3 年目>

(イ) マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発

研究機関：(株)内山刃物（浜松市中区）、東京電機大学、光産業創生大学院大学、
浜松工業技術支援センター

実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <継続／2 年目>

(ウ) 難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発

研究機関：(株)南部製作所（浜松市浜北区）、静岡大学

実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <継続／2 年目>

(エ) 次世代自動車向け軸付はすば歯車の冷間鍛造新製法にかかる研究開発

研究機関：金田工業(株)（浜松市中区）、静岡大学

実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <継続／2 年目>

(オ) プラント配管向け高精度減肉計測用 X 線ラインセンサの開発

研究機関：(株)ANSeeN（浜松市中区）、静岡大学

実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <継続／2 年目>

(カ) 透明パネル積層技術を用いた医療用臓器モデル立体ディスプレイの開発

研究機関：(株)ティデック（浜松市浜北区）、千葉大学

実施期間：令和元年度～令和 3 年度 <継続／2 年目>

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和 2 年度※2	令和 2 年度
「サポイン事業※3」申請件数	5 件	0 件	1 件
「サポイン事業※3」採択件数	5 件	0 件	1 件
企業訪問数	7 社	4 社	10 社

※1：令和 2 年 3 月末日時点、※2：令和 3 年 3 月末日時点

※3：サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）

15 競争的資金等獲得支援事業

決算額 292,784 円（予算額 470 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

地域中小企業の新技術開発促進や経営基盤強化のため、国、県、市町等の各種競争的資金の獲得を支援する。

【年度総括】

令和 2 年度は、従来の戦略的基盤技術高度化支援事業の支援から拡大し、「静岡県産業振興財団 新成長産業戦略的育成事業助成事業」や「浜松市新産業創出事業費補助金」に対する申請支援も行い、地域中小企業の競争的資金獲得の支援範囲を拡大した。また、「サポイン補助金獲得セミナー」においては、制度改定の情報を受けた後の 12 月に開催する事で、よりタイムリーな情報を中小企業に届ける事ができた。

令和 3 年度も、国をはじめとした関係機関との構築を強化し、地域中小企業の支援につなげていく。

【実施内容】

サポイン、ものづくり補助金、経営革新事業等の競争的資金獲得を目指す中小企業を支援するため、セミナーや個別相談会を開催した。

(1) ものづくり中小企業のための補助金獲得セミナー

開催日：令和 2 年 4 月 17 日（金）～5 月 29 日（金）

会 場：WEB 開催

内 容：財団 HP 内に行政及び支援機関等の令和 2 年度施策に関する特設ページを掲載し、経済産業省、静岡県産業振興財団、浜松市、磐田市、湖西市、当財団などの補助金制度等を紹介

受講料：無料

参加者：278 名（WEB ページ訪問者）

(2) ものづくり中小企業のためのサポイン補助金獲得セミナー

開催日：令和 2 年 12 月 10 日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：サポイン制度の最新動向や書類作成に関するセミナー、個別相談会

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：21 社 24 名（定員：25 名、申込：33 名）

[県西部地域] 20 社 23 名、[県西部地域外] 1 社 1 名

個別相談会：5 社

(3) 他の行政・地域支援機関等と連携支援

国や県をはじめとした、他の行政・地域支援機関等との連携を行い、地域中小企業に役立つ補助金情報をいち早く周知し、申請支援を実施した。

<各種補助金新規申請支援>

・個別相談：16 社

・申請支援：4 社

（新成長産業戦略的育成事業助成事業、浜松市新産業創出事業費補助金、戦略的基盤技術高度化支援事業）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
補助金獲得セミナー ※WEB開催	97 社	278 名	100 社
サポインセミナー参加数		21 社	
補助金申請支援企業数（サポイン等）	5 社	4 社	5 社

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

16 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 500,000 円（予算額 500 千円） <財団自主>

【目的】

各地域の産学官連携推進機関との広域的な連携を図るとともに、地域企業における国等の各種研究開発事業による成果の発信や国内外の市場に向けた事業展開を支援する。

【年度総括】

令和2年度も、医工連携拠点の事業運営委員会で決定された事業計画に基づき、「医工連携スタートアップ支援事業（新規医工連携プロジェクト補助事業）の公募、フォーラムの開催等の各種事業を実施した。また、定期的に医工連携拠点ワーキング会議を開催し、情報共有及び関係機関の連携を図った。

令和3年度は、企業間マッチング支援の強化を図り、地域企業の医療機器産業への参入拡大に繋げる活動を推進していく。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活動計画を実現するため、当財団から3名の職員を浜松医科大学内に事務局を置く「拠点」に派遣し、提案機関の一つとして活動を支援した。

(1) メディカルイノベーションフォーラム 2020

開催日：令和3年1月22日（金）

会 場：浜松医科大学 医工連携拠点棟

講 師：慶応義塾大学 医学部医科学教室 教授 末松 誠 氏

内 容：基調講演／データシェアリングによる医療研究開発の課題解決：新型コロナからの教訓

意見交換 等

参加者：106名（会場：18名、WEB：88名）

17 地域産業活性化支援事業

決算額 121,000 円（予算額 1,300 千円） <財団自主>

【目的】

各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与することを目的とする。

【年度総括】

本事業において、静岡県 IoT 活用研究会に参画し、IoT によるカイゼン事例やツー

ル情報の提供を行い、WEBでの専門家との個別相談、セミナー開催等を通じた生産性向上支援を行った。また、浜松市海外経済交流推進事業に対して負担金を交付し、浜松市内中小企業の「海外ビジネス展開」を側面支援した。

今後も、静岡県IoT活用研究会のセミナーや海外経済交流推進事業との連携を通して、地域企業の発展を促進するとともに、国等の動向に迅速に対応し、必要に応じて地域企業の課題解決を目的としたトライアル事業を実施していく。

【実施内容】

浜松地域の産業経済の発展に寄与する市受託事業や他事業などを補完する施策を実施した。また、わが国の産業や経済構造の急激な環境変化に加えて、多様化する地域経済や地域企業のニーズに迅速かつ効果的に対応する施策の検証を行った。

(1) 浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与する事業

ア 静岡県IoT活用研究会連携業務

同研究会は、企業、大学、産業支援機関、行政等が相互に「インダストリー4.0」をはじめとする事業活動におけるIoTの活用に関する情報提供や意見交換、交流の場を設置することにより、「事業活動の連携=つながる」をテーマに、経営力の向上やビジネス機会の創出に寄与することを目的としている。本機構は、事務局を担う静岡県経済産業部商工業局をはじめとする4つの団体のひとつとして、事務局業務をサポートした。

事務局：静岡県経済産業部商工業局、国立大学法人静岡大学、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、（公財）静岡県産業振興財団

<事業計画>

①静岡県IoT活用研究会総会

開催日：令和2年3月末

※研究会会員へメールにて報告

内 容：令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画

②IoT活用事例普及事業

・IoT促進セミナー

開催日：令和2年11月12日（木）

会 場：磐田グランドホテル

参加者：30社31名

・無料相談会

開催日：令和3年2月16日（火）、24日（水）、3月2日（火）、8日（月）

会 場：静岡県産業経済会館

内 容：IoT支援専門員によるシステム提案等の個別相談

③大学連携講座

・わかりやすいIoTを用いた現場実装

開催日：令和2年12月22日（火）、23日（水）

会 場：静岡県工業技術研究所

参加者：10社10名

④個別支援

富士宮市での養鱒場の管理及び静岡県水産振興課からのニーズを地域企業との

マッチング及びIoT支援専門員を派遣した。

イ 海外経済交流推進事業（財団：協議会副会長）

浜松市、ジェトロ浜松、浜松商工会議所と連携して、市内中小企業の「海外ビジネス展開」を支援するため、浜松市海外経済交流推進協議会事業に対して負担金を支払うとともに、産業支援機関として各種事業のフォローアップを行った。

・浜松市海外経済交流推進協議会負担金支出

平成 27 年度：500 千円、平成 28 年度：300 千円、平成 29 年度：100 千円

平成 30 年度：100 千円、令和元年度：100 千円、令和 2 年度：100 千円

・海外経済交流推進協議会：令和 2 年 4 月 22 日（水）、5 月 18 日（月）、
7 月 31 日（金）、9 月 15 日（火）

・海外ビジネスセミナー（ベトナム、タイ、インドネシア、他）※WEB 開催

・MOU 締結機関との意見交換会（タイ） など

ウ その他事業

本事業の目標を達成するため、必要に応じて新規事業を実施するとともに、関係機関との連携を強化していく。

(2) 国等の最新動向などに対応したトライアル事業

国等の動向及び地域経済や地域企業のニーズに対応する迅速かつ効果的な支援施策を模索するため、関東経済産業局をはじめとする各機関との連携を密に情報収集を行った。

(3) 賛助会員リクエストプログラム

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規セミナー等の開催はできなかったが、賛助会員のニーズに対応する事業を検討するにあたってのアンケートを実施した。アンケート結果を基に、今年度、当財団が実施する事業の中で対応可能な講座については、会員へその情報を伝え受講へと繋げることができた。今後、既存事業との連携を図りつつ、会員のニーズに応えるセミナー等を実施していく。

18 フォトンバレーセンター事業

決算額 98,165,296 円（予算額 111,620 千円）

【決算額財源内訳】 26,463,349 円 <県・8 市町負担金>

1,310,000 円 <企業負担金>

A-SAP 決算額 29,608,053 円（予算額 50,000 千円） <県補助、市負担金>

イノベ・エコ決算額 10,293,013 円（予算額 10,000 千円） <国補助>

【目的】

「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン（フォトンビジョン）」の実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する。

併せて、地域の中核支援機関（プラットフォーム）として、光・電子技術が持つ将来の可能性と地域の強みを活かしながら、光・電子技術の世界的拠点となるクラスターの形成を目指す。

【年度総括】

令和 2 年度の A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業については、年度に縛られないシームレスな支援の枠組みを構築するため、募集回数を年 4 回に増加させ、

企業の技術的課題をきめ細かく拾い上げられるようにした。その結果、第4期から第7期の4回の募集に対し、のべ35社から39案件の応募があった。採択は10件と予定していた12件には至らなかったものの、採択されなかった案件については公設試験研究機関との間を取り持つ、大学の教官を紹介するなど、可能な限りのフォローに努めた。また、新たに宇都宮大学と協力関係を築き、新たな技術基盤を確保することもできた。その他の事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響で集合型で事業の実施が困難となったため、人材育成講座「B-LABO」や「未来創成フロンティアセミナー」をはじめとする各種セミナーはオンライン配信も活用することで、受講機会を確保し、地域企業の支援に努めた。

令和3年度事業は、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を一層推進するため、試作開発後の事業化や市場投入フェーズに活用可能な補助制度を創設し、A-SAPや他の補助制度活用後の案件を支援する体制を整える。また、引き続きオンラインを活用した取組みを継続するなど、令和2年度に得たノウハウを活用しながら地域企業に対し利便性の高いサービスを提供していく。

【実施内容】

フロンティアセンターは、地域の中核支援機関として、大学の産学連携推進組織や金融機関、官公庁などの各セクターとの連携を強化するとともに、企業群のネットワーク化を進め、入口から出口までを一貫して支援する体制を構築した。

この体制の下、大学シーズと企業ニーズのマッチングをはじめ、光・電子技術活用のためのセミナーなどの人材育成事業や光・電子技術の活用による生産性向上に取り組む企業などの支援を行った。

(1) ビジネスマッチング事業

ア コーディネート事業

・支援種別件数

参入啓発	製品開発	生産性向上	販路開拓	海外展開	人材育成	その他	合計
31	711	160	251	40	51	262	1,506

・技術分野別件数

次世代自動車	医療・福祉機器	ロボット	航空宇宙	環境関連技術	新エネルギー	新農業	CNF	食品	光・電子	その他	合計
1,310	34	35	10	4	19	5	2	0	1	86	1,506

・地区別支援、相談件数

西部								中部 東部	県外	合計
浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町			
939	106	20	90	9	3	13	2	154	170	1,506

イ 参入啓発セミナー

企業における既存事業の課題解決及び新規事業開発に向け、光・電子技術の導入を促すことを目的に、技術の有用性や有望性を啓発するセミナーを実施した。

・今更聞けない「クラウド」入門セミナー〔浜松市〕

開催日：令和2年8月6日（木）

会 場：WEB 開催

内 容：講演／クラウドで何ができるのか？

講師／㈱TOKAI コミュニケーションズ（静岡市葵区）

法人営業本部クラウドソリューション推進室 室長 林 秀樹 氏

講演／クラウドサービスの活用例について 一旭鉄工の実例よりー
講師／i Smart Technologies(株) (愛知県碧南市)

執行役員 CSO 木野 竜之介 氏

受講料：無料

参加者：48 名（定員：80 名、申込：64 名）

- ・レーザー加工技術の基礎セミナー「加工用レーザー入門」 [湖西市]

開催日：令和 2 年 11 月 5 日（木）

会 場：湖西市地域職業訓練センター＋WEB 開催

内 容：講演／初級者にもわかる加工用レーザーの基礎講座

代表的な加工技術とその事例

講師／光産業創成大学院大学 副学長 坪井 昭彦 氏

参加者：60 名（定員：会場 15 名・オンライン 50 名、申込：73 名）

- ・コロナ禍における IoT 化の勧め！ [磐田市]

開催日：令和 2 年 11 月 12 日（木）

会 場：磐田グランドホテル アネックス 1 階

内 容：講演／IoT 実施の意義・実施例

中小企業でも導入できる IoT ツール・手法の紹介

IoT 化される企業の将来

講師／愛和システムソリューションズ(株) (愛知県名古屋市中)

代表取締役 和栗 正昭 氏

参加者：43 名（定員：40 名、申込：33 名）

- ・ものづくり企業の『高付加価値化』実現セミナー [浜松市]

開催日：令和 2 年 11 月 24 日（火）

会 場：WEB 開催

内 容：講演／答えは己の中にある ～企業の“稼ぐ力”を引き出すには

講師／国立研究開発法人産業技術総合研究所

情報・人間工学領域 領域長補佐（幹部職員） 田中 純 氏

講演／高付加価値化を実現するための製造業 DX とは？

講師／(株)FA プロダクツ（東京都港区）

代表取締役社長 貴田 義和 氏

講演／独自技術と生産力で顧客に価値を提供

講師／国本工業(株)（浜松市浜北区）

代表取締役会長 國本 幸孝 氏

参加者：80 名（定員：80 名、申込：91 名）

- ・加工用レーザー入門セミナー『レーザー加工技術の基礎とレーザークリーニング』
[菊川市]

開催日：令和 2 年 12 月 4 日（金）

会 場：菊川市商工会

講 師：光産業創成大学院大学 副学長 坪井 昭彦 氏

内 容：講演 1／初級者にもわかる加工用レーザーの基礎講座

講演 2／レーザークリーニングとその可能性

参加者：12 名（定員：30 名、申込：18 名）

- ・初心者でも良く分かる IoT 体験セミナー [袋井市]

開催日：令和 2 年 12 月 16 日（水）

会 場：静岡県工業技術研究所

講 師：静岡県工業技術研究所 機械電子科 山口 智之 氏

講 義：SONY MESH®の使用法、Raspberry Pi を用いたデータの見える化、実習

内 容：フォトンバレーセンター説明、講義、IoT ラボ見学

参加者：10 名（定員：10 名、申込：10 名）

- ・サービス業でも活用できる 光・電子技術を用いたウィズコロナ対策 [御前崎市]

開催日：令和 3 年 1 月 21 日（木）

会 場：御前崎市文化会館＋WEB 開催

講 師：光産業創成大学院大学 教授 江田英雄 氏

内 容：講演 1／光でなにができるか～ウイルスと光～

講演 2／第 3 次産業でこそ活用できる光・電子技術入門

参加者：18 名（定員：会場 30 名＋WEB40 名、申込：27 名）

- ・ウィズコロナ時代に中小企業が目指すべきデジタル化

～ここまで来ている掛川市内企業の取り組み～ [掛川市]

開催日：令和 3 年 1 月 28 日（木）

会 場：掛川商工会議所＋WEB 開催

講 師：名倉 IT 経営研究所・中小企業診断士事務所（掛川市） 名倉 真史 氏

内 容：講演 1／ウィズコロナ時代に中小企業が目指すデジタル化

講演 2／掛川市の中小企業を巡る最新デジタル技術いろいろ

参加者：30 名（定員：会場 30 名＋WEB30 名、申込：36 名）

- ・光・電子技術と細菌・ウイルス対策 [森町]

開催日：令和 3 年 2 月 18 日（木）

会 場：WEB 開催

講 師：光産業創成大学院大学 教授 江田 英雄 氏

内 容：講演 1／光技術者がみたウイルス学と紫外線の基礎

講演 2／光・電子技術を活用した細菌・ウイルス対策の状況

参加者：46 名（定員：80 名、申込：58 名）

(2) 産学官金連携事業

ア 展示会出展支援

首都圏等で開催される展示商談会へフォトンバレーセンターの共同ブースを設置し、地域企業の新製品や新技術の販路開拓を支援するとともに、本センターの活動の周知を図った。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
12 月 9 日（水）～11 日（金） （東京ビッグサイト）	Inter Opto 2021	5 社
※出展支援企業：アドバンスコンポジット(株)（富士市）、イメージテック(株)（浜松市中区）、(株)スカイロジック（浜松市北区）、ソフトウェアクス(株)（浜松市中区）、ユニオプト(株)（湖西市）		

イ 広報発信事業

①広報媒体の作成及び運用

a パンフレット作成

発 行：令和 3 年 10 月

発行部数：500 部

b ホームページ

令和2年9月7日（月）リニューアル

②県西部地域の展示会における情報発信

フォトンバレーセンターの取り組み及び光・電子技術の有用性や有望性を発信するため、県西部地域で開催される技術展示商談会に出展する。

・第2回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2020

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

会 場：WEB 展示会（浜松いわた信用金庫 HP 内）

内 容：今年度は WEB 展示会へ変更して実施。特設サイト内に企業情報を掲載し、自社技術の PR を行った。

・第10回産業振興フェア in いわた

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

会 場：WEB 展示会（磐田商工会議所 HP 内）

内 容：今年度は WEB 展示会へ変更して実施。特設サイト内に企業情報を掲載し、自社技術の PR を行うとともに、その後事務局がマッチング支援を行った。

③未来創成フォトンバレーセミナー

フォトンバレーセンターの活動を広く周知するとともに著名な講師を招いて未来創成につながる講演を開催した。

期 日：令和2年11月18日（水）

会 場：グランドホテル浜松

講 師：(株)NTT ドコモ（東京都千代田区）

5G・IoT ソリューション推進室担当部長 有田 浩之 氏

MedVenture Partners(株)（東京都中央区）

取締役 チーフメディカルオフィサー 池野 文昭 氏

受講料：無料

参加者：会場 54 名、WEB86 名（定員：会場 80 名+WEB80 名、申込 127 名）

ウ 光を利用したものづくりに関するセミナー

人手不足が深刻化している製造現場において、製品検査における改善をテーマに、生産性向上に向けた目視検査法の紹介及び目視検査に代わりうる画像検査の紹介により、企業が抱える課題解決を行った。

・第1回

目視検査の常識を覆す！『周辺視目視検査法』入門

開催日：令和2年10月14日（水）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講 師：周辺視目視検査研究所（神奈川県海老名市） 代表 佐々木 章雄 氏

内 容：周辺視目視検査法の理解・導入方法、見逃しの原因となる検査対象物と光源（検査用照明）の関係、事例紹介

受講料：無料

参加者：59 名（定員：60 名、申込 62 名）

・第2回

従来型の常識を覆す！『マシンビジョン画像処理システムのための新しい照明技術入門』

開催日：令和3年2月9日（火）

会 場：WEB 開催

講 師：マシンビジョンライティング(株)（東京都国分寺市）

代表取締役社長 増村 茂樹 氏

内 容：照明のパラダイムシフト、機械のための新しい照明技術とは、V-ISA メソッド入門、適用事例とデモ実験

受講料：無料

参加者：67 名（定員：80 名）

エ 健康医療分野のセミナー ※はままつ医工連携拠点と共同開催

はままつ医工連携拠点との共催による健康医療分野に関するセミナー（全 5 回）を実施した。

・第 1 回

開催日：令和 2 年 9 月 11 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室＋WEB 開催

講 師：（独）中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏

内 容：わかりやすい医療機器と薬機法（入門編）

参加者：37 名（定員 30 名）

・第 2 回

開催日：令和 2 年 10 月 9 日（金）

会 場：浜松医科大学医工連携拠点棟 会議室＋WEB 開催

講 師：（独）中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏

内 容：医療機器分野への参入の実際と課題

参加者：32 名（定員 30 名）

・第 3 回

開催日：令和 2 年 11 月 24 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター＋WEB 開催

講 師：（独）中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏

内 容：医療機器の品質マネジメントシステム（ISO13485）の構築について

参加者：32 名（定員 30 名）

・第 4 回

開催日：令和 2 年 12 月 11 日（金）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター＋WEB 開催

講 師：（独）中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏

内 容：医療機器の開発におけるリスクマネジメント

参加者：35 名（定員 30 名）

・第 5 回

開催日：令和 3 年 2 月 12 日（金）

会 場：アクトシティ浜松 コングレンスセンター＋WEB 開催

講 師：（独）中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏

内 容：医療機器の認可申請と不具合対応

参加者：33 名（定員 30 名）

オ ビジネスプロデュース力養成ラボ 2020

浜松地域の偉大な先人たちの足跡を学びつつ、イノベーションの創出や持続的発展のため、自ら考え、課題を設定し、信念を持って事業構想をまとめ上げ、次世代のビジネスを担っていくビジネスプロデュース力の養成を行った。

<①ゼミナール編（ワークショップ）、②早わかり講座編（講座）>

開催日：令和2年9月4日（金）～令和2年12月11日（金）

会 場：WEB 開催

内 容：①ゼミナール編（8日間）／ワークショップ形式により、イノベティブな新規事業を創り出すため価値創造を議論する

②早わかり講座編（7日間）／早わかり講座として、ビジネスに必要な知識を習得する

対象者：県内企業の中堅層を担う方、これからビジネスを担っていく方

受講料：①50,000 円、②10,000 円

参加者：①7 社 10 名、②13 社 23 名（定員：各 15 名）

<成果発表会>

開催日：令和2年12月11日（金）

場 所：光産業創成大学院大学＋WEB 開催

参加者：会場 6 名、WEB11 名

(3) 技術活用支援事業

光・電子技術を活用した事業展開を支援するため、光・電子技術を新たに活用し製品開発に向けた試作品の製作や既存事業への光・電子技術の導入に対する補助事業を実施した。

ア 光・電子技術活用促進事業費補助金（フォトンバレー補助金）

公募期間：令和2年5月11日（月）～7月13日（月）

対象事業：＜製品開発＞

光・電子技術を活用した試作品製作（例：認識、計測、制御、加工等）

＜生産性向上＞

既存事業の生産性向上に資する光・電子技術の導入・活用

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 2,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

事業期間：交付決定日～令和3年2月28日（日）

申請件数：6 件

採択件数：6 件

交付決定額：9,409,000 円（6 件）

交付確定額：8,976,000 円（6 件）

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	（株）浜松パルス（浜松市北区）	確定額	1,450,000
	〔事業名（製品開発）〕 農産物鮮度保持装置（青色 LED 光照射ラック）の保管設備としての光触媒装置開発			
	〔成果と今後〕 光触媒装置の試作機を 5 台製造した。今後、静岡県農林技術研究所等と評価試験を重ね、実証データを元に製品化に向けた問題点の抽出と改善を実施し、令和4年のミカン収穫に間に合うように販売を目指す。			

2	企業名	YK・コラボ（浜松市浜北区）	確定額	891,000
	〔事業名（製品開発）〕 子供から高齢者まで全世代の運動能力と脳活性化等を図るカラータッチ装置の開発			
3	〔成果と今後〕 カラータッチ装置の試作機をジム用とイベント用（ディスプレイ等で活用）の2台を作成。養護施設等個々の施設と連携し、使用方法について今後も協議し機能向上を図る。令和5年6月の本格量産を目指す。			
	企業名	㈱イハラ製作所（浜松市北区）	確定額	2,000,000
4	〔事業名（生産性向上）〕 自動車部品深穴内部切削くず検出カメラ装置導入による検査精度、生産性の改善			
	〔成果と今後〕 良品画像と検査対象製品画像の2値化画像及びヒストグラム比較による切削くず検出を行うカメラ装置を製作。ファイバースコープによる目視検査の廃止により、10秒のタクトタイム削減を実現し、かつ当該工程に人員の日知が不要となったため1人工の削減ができた。			
5	企業名	静岡軽粗材㈱（浜松市東区）	確定額	762,000
	〔事業名（生産性向上）〕 人による全数検査から多機能カメラ検査への移行による生産性の向上			
6	〔成果と今後〕 キーエンス製のカメラに自社開発の技術を施したカメラシステムの構築に成功し、対象製品の検査を人による全数検査から多機能カメラ検査に移行した結果、検査工数を大幅に低減し、生産性向上になった。			
	企業名	㈱内田建設（袋井市）	確定額	1,993,000
7	〔事業名（生産性向上）〕 ホログラムを利用した施工管理サービスの開発・提供			
	〔成果と今後〕 ホログラムを利用して3D設計データを現地に投影することにより、見える化する施工管理サービスの導入を図った。投影が一定の精度（10～30m先で1～5mセンチ程度）の確保が可能となり、位置確認の打合せや、簡単な位置だしに使用できるようになった。			
8	企業名	㈱小出製作所（磐田市）	確定額	1,880,000
	〔事業名（生産性向上）〕 金型メーカーが行う、人の動きのリアルタイム収集によるスケジュール管理システム			
9	〔成果と今後〕 工場作業に関する生産管理システムを、数台のPCから携帯端末に置き換え、工員が作業と同時に入力する方式に改めることにより、就業時間前の入力時間の短縮、リアルタイムでの正確な状況把握、スケジュールの調整が可能となった。			
	合計			8,976,000

（4）世界的ネットワーク構築支援事業

ア 海外クラスターとの連携事業

- ・ドイツクラスター等の連携機関と共同イベントの実施
チューリンゲン州とMOUを締結した。
- ・海外の研究機関とのネットワーク構築及び学術交流の推進

< 共催事業：光産業創成大学院大学公開講座「to revive our entrepreneurship」>

・第1回

開催日：令和3年1月15日（金）

会 場：Co-startup Space & Community「FUSE」＋WEB開催

講 師：Thomas M. Baer 氏

(米スタンフォード大 フォトニクスリサーチセンター エグゼクティブディレクター)

内 容：「Engineering Sustainable Innovation Ecosystems」

参加者：122 名（概数）

・第 2 回

開催日：令和 3 年 1 月 28 日（木）

会 場：Co-startup Space & Community 「FUSE」＋WEB 開催

講 師：Richard Oberreiter 氏（米 Modulim 社 前 CEO）

内 容：「Making Ideas Real」

参加者：85 名（概数）

・第 3 回

開催日：令和 3 年 2 月 15 日（月）

会 場：Co-startup Space & Community 「FUSE」＋WEB 開催

講 師：Paul Blackburn 氏（米 Energetiq Technology 社 元共同創業者）

内 容：「A Tale of Two Start-ups: Plasma Technology and Energetiq Technologies」

参加者：60 名（概数）

イ 海外マッチング支援事業

- ・台湾工業技術研究院（ITRI）との連携推進
- ・海外展示会への出展

<TAIWAN INNOTECH EXPO 2020>

開催日：令和 2 年 9 月 24 日（木）～26 日（土）

会 場：世界貿易中心展覽一館（台湾・台北市信義區信義路五段 5 號）

内 容：台湾企業とのネットワーク構築や販路開拓につなげる目的で地域企業と共同出展する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限もあり、出展希望企業がなかったため本年度は出展を行わなかった。

ウ 浜松市国際見本市「Photonics West 2021」出展支援

浜松市事業の「Photonics West 2021」出展について、共同出展者の募集、浜松市国際見本市出展ブース運営委員会「Photonics West」部会への参加を行う。

開催日：令和 3 年 1 月 26（火）～28 日（木）

会 場：アメリカ カリフォルニア州 サンフランシスコ モスコーンセンター

※浜松市出展中止

(5) A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業

国内初の産学連携スキームを構築し、企業の課題解決のためのプロジェクトチームを外部の専門家や企業等で結成して、光・電子技術の活用により早期の課題解決を支援した。

- ・対象事業：(1) 新製品の開発に向けた試作品の製作
(2) 新製品・サービスの開発に向けた設計
(3) その他センターが認めるもの
- ・委託金額：1 プロジェクトあたり上限 500 万円
- ・A-SAP 特定資産：令和 2 年度造成額 60,000,000 円
取崩額 29,608,053 円
残 額 30,391,947 円

・採択・完了実績

	第4期	第5期	第6期	第7期
申請件数	7	5	13	14
採択件数	3	1	4	2
完了件数	3	1	2	—

・完了事業

	企業名	金額
第4期	(株)ウチゲン	4,896,000 円
	矢崎化工(株)	4,800,000 円
	大石測器(株)	4,953,053 円
第5期	リバティテクノ(株)	4,980,000 円
第6期	(有)アステック開発	4,980,000 円
	サンファーム中山(株)	4,999,000 円

・第4期

公募期間：令和元年10月10日（木）～11月11日（月）

申請件数：7社7件

事業期間：令和2年6月～12月・令和3年1月

採択件数：3社3件

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	(株)ウチゲン（浜松市中区）	委託額	4,896,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	〔プロジェクト名〕ビンピッキングロボット用 3D 部品検出システムの開発			
	〔成果と今後〕 AI と数値モデルの併用による効果的な部品検出を可能とし、ロボットとカメラ及びソフトウェアによる高度なピッキングシステムを実現した。今後、更に改良を加え、顧客価値が高く低コストなビンピッキングの自社商品に向けて開発を進めていく。			
2	企業名	矢崎化工(株)（静岡市）	委託額	4,800,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	〔プロジェクト名〕画像処理技術を活用した AGV 位置検知の精度向上			
	〔成果と今後〕 指定された枠から位置や方向がずれて置かれた台車に対する、AGV 潜り込みポイントの位置検知を行う画像処理アルゴリズムを開発した。今後、早急にオプションとして販売できる体制を整える。無軌道 AGV のニーズが大きい海外で先行し、2021 年度中にはオプション品として海外子会社から先行で販売することを考えている。			
3	企業名	大石測器(株)（浜松市東区）	委託額	4,953,053
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	〔プロジェクト名〕光技術と AI 技術を応用した高速・高精度キズ検査装置			
	〔成果と今後〕 GPU を利用して自動キズ検出アルゴリズムを AI により実行することで高速化し、リアルタイムでキズ検出を実現した。今後、FPGA 実装よりも GPU 実装においてコスト面、性能面の両面において GPU 実装が勝っているので、GPU を用いて商品化する。AI による判定アルゴリズムを組み込み、商品化したら、展示会（東京ビッグサイト）への出品を目指す。			
合計				14,649,053

・第5期

公募期間：令和2年2月15日（土）～2月29日（土）

申請件数：5社5件

事業期間：令和2年7月～令和3年3月

採択件数：1社1件

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	リバティテクノ(株)（浜松市中区）	委託額	4,980,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	高機能バックライト照明の開発試作		
	[成果と今後]	カットスクリーンと組み合わせてカットパターンに応じた輝度と色彩で照明できるバックライトを試作開発した。今後、開発品をベースにサイズのフレキシブル化、デザインに合わせたLEDコントロールソフトウェアを調整し、顧客ニーズに適合させる。		
合計				4,980,000

・第6期

公募期間：令和2年5月15日（金）～5月31日（日）

申請件数：10社13件

事業期間：令和2年10月～令和3年3月・4月・5月《予定》

採択件数：4社4件

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	サンファーム中山(株)（袋井市）	委託額	4,999,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	夜間野菜収穫用人工太陽光照明システムの試作開発		
	[成果と今後]	夜間ハウス内で試作品の照明センサー付きヘッドライトを用いて、トマトの収穫時期を適切に判別できることを確認した。		
2	企業名	(有)アステック開発（浜松市北区）	委託額	4,980,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	金属特性非破壊測定システム開発		
	[成果と今後]	交流磁気特性の差異を利用した新しい材料を用いたプローブを試作して、非破壊で硬さの異なる金属の判別を実証した。今後、測定製品の多品種に対応した新システムを製品化する。また、金属特性非破壊検査システム製品の自社製品として自社販売を事業に組込む		
3	企業名	羽立化工(株)（湖西市）	委託額	4,940,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	省人力、工程短縮、高品質化による競争力向上が可能なバリ取り技術開発		
	[成果と今後]	実施中 ～令和3年4月末予定		
4	企業名	(有)サシペレレジャパン沼津支店（沼津市）	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	LED穂刈鍼灸の有効性のエビデンス取得		
	[成果と今後]	実施中 ～令和3年5月末予定		
合計				19,919,000

・第7期

公募期間：令和2年8月15日（土）～8月31日（月）

申請件数：13社14件

事業期間：令和2年12月～令和3年5月《予定》

採択件数：2社2件

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	(有)クロマニヨン（浜松市中区）	委託額	4,963,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	誰でも使える非対面型対話インターフェイス		
	[成果と今後]	実施中		
2	企業名	サクラ工業(株)（浜松市東区）	委託額	4,999,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	ネットワーク構造触媒の開発		
	[成果と今後]	実施中		
合計				9,962,000

※上記2案件以外に採択後の辞退が1件あり。

・第8期

公募期間：令和2年11月1日（日）～11月15日（日）

申請件数：8社8件

事業期間：令和3年4月～9月《予定》

採択件数：3社3件

【採択企業】

1	企業名	安間製茶（袋井市）	委託額	—
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	ビンピッキングロボット用3D部品検出システムの開発		
	[成果と今後]	—		
2	企業名	(株)フィットメトリクス（浜松市南区）	委託額	—
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	画像処理技術を活用したAGV位置検知の精度向上		
	[成果と今後]	—		
3	企業名	(株)イハラ製作所（浜松市北区）	委託額	—
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	光技術とAI技術を応用した高速・高精度キズ検査装置		
	[成果と今後]	—		
合計				—

(6) 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム ※国補助事業

平成28年9月に静岡大学及び浜松市が申請した文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（事業名：光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトリクスの新技術）」が採択された（平成28年度から平成33年度の5年間限定）。これを受けて、低侵襲立体内視鏡等の事業化プロジェクト成果の海外展開や新たな産業基盤の構築を推進するにあたり、当該プログラムにおける自治体が指定する機関として、マーケティングを専門とするコーディネーターを1名配置（国費を活用）することにより連携を図った。

事業期間：令和2年4月1日（水）～令和3年3月31日（水）

交付申請額：10,272 千円

交付決定額：10,272 千円

交付確定額：10,272 千円

(7) 静岡県中小企業制度融資及び新規・地域産業立地事業費補助金

静岡県の依頼に対し、成長分野（フォトンバレープロジェクト）に該当するか否かについて、フォトンバレーセンターの内規に基づき審査した。

ア 成長産業分野支援資金「クラスター産業分野支援貸付」

光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進した。

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する中小企業者、組合など

融資限度額：10 億円

対象経費：クラスター産業分野を推進するための研究、開発、製造、販売に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：1 件 25,000 千円 ※令和元年度実績：14 件 1,402,200 千円

イ 新規・地域産業立地事業費補助金

県内で製造工場や物流施設等を新設・増設する企業の設備投資に対して静岡県が助成を行うことにより、国内外からの新たな企業の誘致や県内企業の定着を促進した。

補助対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する企業、組合など

補助限度額：10 億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

認定件数：2 件 ※令和元年度実績：0 件

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
相談・対応件数	1,896 件	1,506 件	2,200 件
地域企業の製品開発件数	2 件	6 件	7 件
「光・電子技術活用補助金※3」試作・導入件数	6 件	6 件	5 件
A-SAP※4 申請件数	15 件	44 件	20 件
A-SAP※4 採択件数	8 件	13 件	7 件
技術ニーズマッチング社数	27 社	12 社	20 社
商談成立件数	12 件	5 件	7 件

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

※3：光・電子技術活用促進事業費補助金（製品開発または生産性向上）

※4：産学官金連携イノベーション推進事業

19 次世代自動車センター事業

決算額 104,218,166 円（予算額 107,491 千円）

【決算額財源内訳】	84,500,000 円	＜静岡県・浜松市負担金＞
	4,549,331 円	＜財団自主＞
	4,146,000 円	＜会員会費＞
	11,022,835 円	＜国補助＞

【目的】

近年加速する自動車産業の技術革新（EV 化や自動運転化等）に伴うビジネス環境の変化に対応するため、県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する。

【年度総括】

次世代自動車センターでは、5つの支援体系（技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓）に基づき、次世代自動車に対応するために必要となる情報の提供や知識の習得につながる事業を令和2年度は38回実施し、延べ948社1,722名の参加があった。

また、各事業の実施において、技術コーディネーターによる担当制を採用、各技術コーディネーターがコンセプト決定、講師選定、受講者層のレベルを考慮した講義内容の調整、事後アンケートによるフィードバック等を担当し、受講者にとって有益な情報提供や的確な助言となるよう、事業を実施した。

当センターでは、会員企業が自社の技術上の強みを認識、活用し、次世代自動車に搭載される部品を製作することがビジネスを継続していくうえで重要になると考えている。そこで、会員企業が自社の経費で固有技術のレベルアップを目的とした試作部品の製作や工法開発に取り組もうとする場合、これらを支援する観点から、試作部品の製作委託を制度化した。本スキームは、公募要領を策定したうえで全ての会員企業に試作部品の仕様書を提示し、公募を経て審査会による審査を行い、今年度は計9件を採択した。これらの事業についても、他の事業と同様、技術コーディネーターによる担当制を採用し、試作部品製作から成果の展開まで一貫してフォローを行うスキームのもと実施した。今後、受託先企業が得た知見のうち公表可能な事項について、当センター事業を通じ、他の会員企業に展開するとともに、完成車メーカー及び大手部品メーカー等との技術マッチングを進めていく予定である。さらに、次世代自動車関連部品の試作製作のための情報提供手段として、部品ベンチマーク活動を重点的に実施した。今年度は「テスラ・モデルS」「テスラ・モデル3」「ジャガーI-PACE」などの電動パワーユニットの部品分解を行い、ベンチマークルームに展示し、会員企業がそれらの部品を調査・分析する活動を行った。

令和3年度は、引き続き試作部品製作委託事業等を推進することで、会員企業による新たな部品製作を支援するとともに、国の「2020年版ものづくり白書」においても推進が求められている中小企業におけるデジタルものづくりの促進や、経済産業省が2050年までに二酸化炭素排出量をゼロとすることを目標として掲げた「カーボン・ニュートラルに伴うグリーン成長戦略」への対応等を踏まえ、事業を実施していく予定である。

【実施内容】

地域中小企業が次世代自動車に搭載される部品を開発するための5つの支援（技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓）に基づく事業を展開し、会員企業の技術開発支援やマッチング支援を行った。

＜会員制度＞

・会員企業 370 社 ※令和3年3月末時点

[県西部地域] 213 社、[県西部地域外] 157 社
[中小企業] 291 社、[大手企業] 79 社

<入会資格>

- ①静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業
 - ②地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業
 - ③当センターの事業に賛同する企業 等
- 年会費：12,000 円（税込） ※10 月以降に加入の場合 6,000 円（税込）

<事業展開> ※基本的に会員企業が対象

(1) 技術啓発

ア 次世代自動車センターフォーラム ※非会員企業も対象

開催日：令和 2 年 4 月 14 日（火） ※中止

会 場：グランドホテル浜松

内 容：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。なお、会員企業に対し、当日配布予定であった資料を郵送

イ 技術動向講演会 ※非会員企業も対象

開催日：令和 2 年 11 月 10 日（火）

会 場：WEB 開催

内 容：MaaS、車両の IoT 化、コネクティッド及びシェアリングに関する基調講演、会員企業（試作品委託先、先行開発企業等）によるブース展示及びスモールプレゼンテーション 等

参加費：無料

参加者：89 社 164 名（定員：200 名、申込：96 社 119 名）

[県西部地域] 51 社 96 名、[県西部地域外] 38 社 68 名

ウ 試験装置メーカーによる技術動向講演会

開催日：令和 3 年 2 月 18 日（木）

会 場：WEB 開催

講 師：会員企業のうち試験機メーカー等 4 社

内 容：基調講演 他

参加費：無料

参加者：34 社 45 名 [県西部地域] 23 社 32 名、[県西部地域外] 11 社 13 名

エ 会員企業アンケート調査

①次世代自動車センター浜松シンポジウム

開催日：令和 2 年 7 月 30 日（木）、8 月 7 日（金） ※8/7 は WEB 版

会 場：ホテルクラウンパレス浜松+WEB 開催

内 容：会員企業アンケート調査活動報告、EV 車両分解活動報告

※第 1 回シンポジウムにて EV（二輪車）の車両分解報告と同時開催（スモールプレゼン、ブース展示）

参加費：無料

参加者：27 社 50 名 [県西部地域] 23 社 43 名、[県西部地域外] 4 社 7 名

23 社 64 名 [県西部地域] 14 社 42 名、[県西部地域外] 9 社 22 名

②アンケート調査

実施日：令和 3 年 2 月～3 月

内 容：会員企業の次世代自動車に対する取り組み状況や次世代自動車センターへの要望事項を把握し、その結果を事業に反映することを目的としたアンケート調査

対 象：会員企業

オ 海外イベント視察報告会

- ①北京モーターショー2020（中国・北京市）
※新型コロナウイルス感染症の影響により視察中止
- ②パリモーターショー2020（フランス・パリ）
※新型コロナウイルス感染症の影響により視察中止
- ③CES2021（アメリカ・ラスベガス）
※新型コロナウイルス感染症の影響により視察中止
- ④報告会
※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

カ モーター及び電気自動車の基礎講座

- 開催日：第1回／令和2年6月30日（火）
第2回／令和2年11月18日（水）
第3回／令和3年3月17日（水）
- 会 場：WEB 開催
- 内 容：全3回講座
第1回／モーターの基礎（座学）
第2回／電気自動車の基礎（座学）
第3回／日産リーフの新旧比較（座学及び分解展示見学）
- 参加者：第1回／19社34名
第2回／18社24名
第3回／17社30名

キ X線CT装置基礎講座

- 開催日：第1回／令和2年8月5日（水）
第2回／令和2年9月9日（水）
第3回／令和2年10月9日（金）
第4回／令和3年2月8日（月）
- 会 場：WEB 開催
- 内 容：全4回講座
第1回／X線CT装置の基礎
第2回／完成車メーカーでの活用事例（1）
第3回／完成車メーカーでの活用事例（2）
第4回／設備見学会（浜松工業技術支援センター）
- 参加者：第1回／13社22名
第2回／14社27名
第3回／15社28名
第4回／14社26名

ク 振動騒音測定・分析の技術習得講座

- 開催日：令和3年3月25日（木）
- 会 場：浜松商工会議所会館 会議室
- 内 容：EV車両において高度化が必要となる振動騒音測定技術や分析技術についての基礎講習
- 受講料：無料
- 参加者：6社9名〔県西部地域〕6社9名、〔県西部地域外〕一社一名

ケ 固有技術の探索活動基礎講座

①説明会

開催日：令和2年6月3日（水）、11月19日（木）

会 場：WEB 開催

内 容：自社の固有技術を見える化する「固有技術探索チャート」の作成方法
の説明

参加者：16社38名（定員：20社）、8社12名（定員：20社）

②講座

固有技術探索チャートを作成することで自社が持つ技術の棚卸しを行い、固有技術の見える化をサポート。また、各社個別の面談を実施し、固有技術の認識活用を促進（2回連続講座）

開催日：第1回-1／令和2年8月3日（月）

第1回-2／令和2年9月14日（月）、17日（木）

第2回-1／令和3年1月18日（月）

第2回-2／令和3年2月26日（金）、3月2日（火）

会 場：浜松商工会議所 会議室、WEB 開催

内 容：全2回講座

参加者：第1回／7社11名（定員：10社30名）

第2回／3社7名（定員：10社30名）

(2) 技術研鑽

ア EV 車（四輪及び二輪）の車両分解調査活動

①次世代自動車支援センター埼玉（対象車両：ホンダ「フィット」）

開催日：令和2年8月～令和3年3月

会 場：次世代自動車支援センター埼玉

内 容：試乗会／令和2年8月27日（木）、28日（金）

車両貸出／令和2年7月～8月

発足会・講演会／令和2年9月16日（水）

車両分解見学会／令和2年9月17日（木）

分解部品展示／令和2年10月1日（木）、2日（金）

部品貸出／令和2年10月15日（木）～令和3年1月15日（金）

最終報告会／令和3年3月15日（月）

参加者：8社〔県西部地域〕5社、〔県西部地域外〕3社

②次世代自動車センター（対象車両：BMW C Evolution）

・部品の貸し出しと調査解析

開催日：令和2年3月12日（木）～5月29日（金）

会 場：次世代自動車センター ベンチマークルーム

内 容：会員企業への部品の貸し出し、会員企業による調査・解析 など
貸出企業：6社

ASTI(株)（浜松市南区）、ポップリベットファスナー(株)（愛知県豊橋市）、(株)矢崎総業（湖西市）、TDK(株)（東京都中央区）、(株)ユニバンス（湖西市）、三恵(株)（磐田市）

参加費：無料

・調査結果報告会

開催日：令和2年7月30日（木）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松＋WEB 開催

内 容：EV（二輪車）の車両分解報告 他

※第1回シンポジウムにて会員企業アンケート調査結果報告と同時開催
参加費：無料

参加者：27 社 50 名 [県西部地域] 23 社 43 名、[県西部地域外] 4 社 7 名
32 社 36 名 [県西部地域] 18 社 20 名、[県西部地域外] 14 社 16 名

・EV 二輪車の車両カットモデル製作

開催日：令和2年9月～10月

内 容：BMW C Evolution のカットモデル製作

委託先：㈱サンコーテクノネット（沼津市）

イ 次世代自動車関連部品の製造現場見学会 ※会員企業対象

現場見学会「マレリ㈱児玉工場」

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

会 場：マレリ㈱児玉工場（埼玉県本庄市）

内 容：次世代自動車関連部品の製造工程等を見学

参加費：無料

参加者：一社一名（定員：一社一名、申込：一社一名）

[県西部地域] 一社一名、[県西部地域外] 一社一名

(3) 技術創造

ア 新技術の適用評価に関する研究・実験（試作部品の製作委託）

イ 次世代自動車部品の共同開発プロジェクト

ウ 部品ベンチマーク活動に基づいた次世代自動車関連部品の試作実習

会員企業が自社の技術力や提案力を高めるための手段として、試作部品の製作を委託契約により実施した。なお、委託先は今年度定めた委託公募要領に基づき、会員企業に対して公募及び審査会を開催し決定した。

<第1回>

公募期間：令和2年8月5日（水）～12日（水）

試作内容：①モーターシャフト／3社

②超ハイテン製車体部品／1社

③インバーター冷却用ヒートシンク構成部品／1社

④プレス深絞り加工モーターケース／1社

審 査 会：令和2年9月8日（火）

採 択：6社

<第2回>

公募期間：令和2年9月18日（金）～25日（金）

試作内容：①精密加工部品リニアソレノイドコアの連続ろう付け技術／1社

②超ハイテン(1180Mpa)を用いた車体構造部品／1社

③モーターシャフトのローレット歯すじ測定方法／1社

審 査 会：令和2年10月7日（水）

採 択：3社

エ 部品ベンチマーク活動調査結果報告会

次世代自動車部品の収集と性能調査・分解調査を行い、調査結果を会員企業に報告し、情報共有を図った。

①Tesla model S、model 3 の電動アクスル分解調査

開催日：令和2年9月4日（金）、11日（金）（分解部品説明会）

令和2年9月9日（水）～10月2日（金）（部品展示）

令和2年10月5日（月）～11月（部品貸出）

報告書提出、報告会

※電動アクスル＝モーター、減速機、インバーターの機電一体型駆動ユニット

(4) 人材育成

ア 先行企業活動報告会

開催日：令和2年11月10日（火）

会 場：WEB 開催

内 容：先行開発企業数社によるスモールプレゼンテーション

※技術動向講演会と同時開催（スモールプレゼン、ブース展示）

イ 構造部材による軽量化基礎講座

開催日：令和2年10月21日（水）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：材質の異なる構造部材の強度や剛性解析に関する知識の習得

受講料：無料

参加者：4社8名（定員：5社10名、申込：4社8名）

〔県西部地域〕4社8名、〔県西部地域外〕一社一名

ウ 自動車工学基礎講座

<カイゼンベース（全7回講座）>

開催日：第1回／令和2年7月1日（水）

第2回／令和2年7月22日（水）

第3回／令和2年8月19日（水）

第4回／令和2年10月14日（水）

第5回／令和2年11月11日（水）

第6回／令和2年12月9日（水）

第7回／令和3年1月20日（水）

会 場：WEB 開催

内 容：自動車工学に関する基礎知識を習得

第1回／カイゼンベース①「カイゼンの基礎」

第2回／カイゼンベース②「なぜなぜ分析の進め方」

第3回／カイゼンベース③「IEの概要」

第4回／カイゼンベース④「品質管理と品質改善活動」

第5回／カイゼンベース⑤「工程分析の考え方と活用法」

第6回／カイゼンベース⑥「動作研究の考え方と活用法」

第7回／カイゼンベース⑦「時間研究の考え方と活用法」

※その他、衝突安全、サスペンションの基礎、CAEの基礎等をテーマとしたセミナーを実施

受講料：無料

参加者：第1回／24社72名（定員：15社、申込：24社72名）

〔県西部地域〕13社31名、〔県西部地域外〕11社41名

第2回／26社64名（定員：15社、申込：26社64名）

〔県西部地域〕18社48名、〔県西部地域外〕8社16名

第3回／27社60名（定員：15社、申込：39社93名）

〔県西部地域〕15社42名、〔県西部地域外〕12社18名

第4回／38社108名（定員：15社、申込：40社120名）
[県西部地域] 28社67名、[県西部地域外] 10社41名
第5回／35社59名（定員：15社、申込：35社59名）
[県西部地域] 24社38名、[県西部地域外] 11社21名
第6回／25社48名（定員：15社、申込：25社49名）
[県西部地域] 16社32名、[県西部地域外] 9社16名
第7回／35社57名（定員：15社、申込：37社60名）
[県西部地域] 21社35名、[県西部地域外] 14社22名

<新入社員向け基礎講座>

開催日：第1回／令和2年7月1日（水）
第2回／令和2年7月22日（水）
会 場：WEB開催
内 容：第1回／新入社員・若手社員向け安全教育
第2回／自動車の構造と製造工程の基礎講座
参加者：第1回／23社64名
第2回／39社93名

<中堅技術者向け基礎講座>

開催日：第1回／令和2年12月2日（水）
第2回／令和2年12月17日（木）
第3回／令和3年1月14日（木）
第4回／令和3年2月12日（金）
会 場：WEB開催
内 容：第1回／サスペンションの基礎
第2回／衝突安全の基礎
第3回／CAE技術の基礎
第4回／MDB（モデルベース開発）の基礎
参加者：第1回／28社36名
第2回／21社31名
第3回／21社32名
第4回／35社61名

(5) 販路開拓

ア 先行企業活動報告会

開催日：令和2年11月10日（火）
会 場：WEB開催
内 容：先行開発企業数社によるスモールプレゼンテーション
※技術動向講演会と同時開催（スモールプレゼン、ブース展示）

イ マッチング支援

開催日：通年実施
会 場：各所
内 容：会員企業の大手部品メーカーなどの技術ニーズと固有技術探索チャートに基づく中小企業の技術上の強みのマッチングを図り、販路開拓へとつなげる
大手企業：スズキ(株)、住友理工(株)、(株)ROKI、(株)エフ・シー・シー、マレリ(株)、ミネベアミツミ(株) など

ウ 会員企業間の交流会

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

会 場：市内ホテル

内 容：異業種を含めた会員企業間の交流会を次世代自動車センターが開催し、会員企業内でのネットワーク構築を図るとともに、ビジネスチャンスの拡大を促す

(6) その他

ア 企業訪問・来訪 ※令和3年3月末時点

固有技術探索：19回、先行開発企業：67回、技術マッチング：17回

ベンチマークルーム：122回、その他：44回

イ 広報

・パンフレットの発行

発行日：令和2年3月（2,000部）

増 刷：令和2年10月（500部）

・HPの運用及び改修

ウ 他支援機関等との連携

静岡県内の行政機関、支援機関及び中核企業に対して、次世代自動車センターの概要・事業説明を実施し、会員企業の獲得及び認知向上を図った。

エ サプライヤー応援隊事業（国：中小企業・小規模事業者人材対策事業）

経済産業省の補助事業を活用し、次世代自動車センターの技術CDの知識習得を行い、中小企業等が次世代技術への対応ができるよう各種支援につなげるとともに、地域サプライヤーの育成をすることで地元輸送用機器産業の発展に果たした。 ※次世代自動車センターの25の施策と連動し、本事業を遂行

・指導育成事業：知識習得のための各種講座等への参加 等

・現場派遣事業：固有技術の棚卸しと活用へのアドバイス

大手部品メーカー等との技術マッチングの推進 等

補助対象期間：交付決定日～令和3年3月

交付決定額：13,000,000円

交付確定額：11,022,835円

<全国連絡会議>

開催日：令和2年11月12日（木）

会 場：WEB開催

内 容：意見交換、事業報告 など

参加者：全国の次世代自動車関連支援センター9機関

オ 「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に関する自動車産業実態調査」報告
地域輸送用機器産業に対する新型コロナウイルス感染症の影響を把握することを目的としたアンケート調査を実施し、産業支援機関及び報道機関に対して情報提供を行った。

・第1回：令和2年4月実施、回答129社（回答率38.5%）

・第2回：令和2年7月実施、回答131社（回答率38.6%）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
会員入会企業数	342 社	370 社	— 社
訪問企業数 ※延べ件数	162 回	269 回	90 回
・固有技術探索チャート作成	36 回	19 回	20 回
・先行企業訪問調査	34 回	67 回	20 回
・技術ニーズマッチング	33 回	17 回	20 回
・その他（部品ベンチマーク活動 等）	59 回	166 回	30 回
開発支援企業件数（秘密保持契約締結件数）	34 件	31 件	20 件
固有技術探索チャート作成件数	38 件	13 件	10 件
試作品製作企業	3 社	8 社	14 社

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

7【拓く】販路開拓支援

20 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 5,091,961 円（予算額 15,149 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松市において製造業を営む中小企業者等の自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

【年度総括】

本事業の核となる「ものづくり販路開拓事業費補助金」については、2次募集からオンライン展示商談会の出展も対象とするなど、新型コロナウイルス感染症の影響に対して迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えた。一方、展示商談会自体の中止や新型コロナウイルス感染症のリスク回避などで補助事業を中止する企業が多くあったため、補助の実績としては前年度を下回った。企業へのヒアリングの中でオンライン展示商談会への出展については、費用対効果や社内の体制等で躊躇している企業があることが分かったため、今後当財団でも成功事例等の情報収集に努め、効果的な販路開拓を模索する。

また、海外認証取得支援事業については、WEBセミナーを開催し、CEマークを中心とした認証制度への理解を深め、海外進出を意識したものづくりについて啓発を行った。

【実施内容】

(1) ものづくり販路開拓事業費補助金（予算：16,000 千円）

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業等に対し、出展に要する経費の一部を補助金として助成した。

公募期間：[1次] 令和2年4月15日（水）～令和2年5月29日（金）

[2次] 令和2年6月29日（月）から随時募集

対 象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者等。又は、上記に該当するものを1者以上含み、研究開発を目的に2者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 200 千円（国内）・500 千円（海外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費など

事業期間：令和2年4月1日（水）～令和3年3月31日（水）

ア 国内：[1次]

申請件数：18 件

採択件数：18 件

交付決定額：3,765 千円（18 件）

出展中止：1,277 千円（7 件）

交付確定額：2,270 千円（11 件）

※交付決定の内、新型コロナウイルス感染症の影響による出展中止：7 社

：[2次]

申請件数：12 件

採択件数：12 件

交付決定額：2,475 千円（12 件）

出展中止：378 千円（2 件）

交付確定額：2,072 千円（10 件）

※交付決定の内、コロナウイルス感染症の影響による出展中止：2 社

< 交付企業一覧 >

(単位：円)

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	ニッコウプロセス㈱ (浜松市北区)	第 5 回 名古屋 設計・製造ソリューション展	201,000
2	パルステック工業㈱ (浜松市北区)	第 5 回 名古屋 機械要素技術展	200,000
3	ATV㈱ (浜松市北区)	2020 楽器フェア	出展中止
4	スナオ電気㈱ (浜松市東区)	農業ワールド 2020	200,000
5	㈱カタナコーポレーション (浜松市北区)	第 11 回 JAPAN IT WEEK 秋	300,000
6	㈱アルファプロジェクト (浜松市東区)	組み込み総合技術展 2020	出展中止
7	㈲太悦鉄工 (浜松市東区)	レジャージャパン 2020	200,000
8	㈱ブローチ研削工業所 (浜松市北区)	第 22 回 ものづくりパートナーフォーラム東京 2020	出展中止
9	㈱スカイロジック (浜松市北区)	国際画像機器展 2020	163,000
10	㈱テクニカルサポート (浜松市北区)	第 35 回 インターネブコン・ジャパン	200,000
11	東海電子印刷㈱ (浜松市南区)	Print Doors 2021 第 57 回 光文堂新春機材展	出展中止
12	パイフォトニクス㈱ (浜松市東区)	国際物流総合展 2021	300,000
13	浜松カーボニクス㈱ (浜松市中区)	国際ナノテクノロジー総合展・技術会議	出展中止
14	㈱Magic Shields (浜松市東区)	地域包括ケア EXPO	200,000
15	㈱鈴一興産 (浜松市南区)	第 50 回 建築総合展 NAGOYA	106,000
16	㈱イーモア (浜松市中区)	フランチイズ・ショー 2021	200,000
17	澤木工房㈱ (浜松市北区)	JSAP EXPO Spring 2021	出展中止
18	㈱インテグラ技術研究所 (浜松市中区)	INTERMOLD 名古屋	出展中止
合計			2,270,000

2 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)浜松パルス (浜松市南区)	新価値創造展 2020	出展中止
2	(株)ジーアクト (浜松市浜北区)	第 35 回 ネプコンジャパン	200,000
3	(株)ハマネツ (浜松市中区)	YUASA Growing フェア	200,000
4	イノベーション・デザイン&テクノロジー(株) (浜松市浜北区)	新価値創造展 2020	出展中止
5	シナジーオプトシステムズ(株) (浜松市西区)	Inter Opto 2021	300,000
6	(株)ナユタ (浜松市東区)	医療機器・設備 EXPO	200,000
7	(株)ティーアールシー高田 (浜松市西区)	RISCON TOKYO 2020	300,000
8	(株)SLDS (浜松市東区)	スポーツ・フィットネス・健康産業総合展	200,000
9	(株)インテグラ技術研究所 (浜松市中区)	JIMTOF 2020 (WEB)	172,000
10	(株)リュウシン (浜松市西区)	クルマの軽量化技術展	200,000
11	ATV(株) (浜松市北区)	2020 楽器フェア (WEB)	50,000
12	(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)	CEATEC 2020 (WEB)	250,000
合計			2,072,000

イ 海外 : [1 次]

申請件数 : 7 件

採択件数 : 7 件

交付決定額 : 3,845 千円 (7 件)

出展中止 : 3,345 千円 (6 件)

交付確定額 : 500 千円 (1 件)

※交付決定の内、コロナウイルス感染症の影響による出展中止 : 6 社

※2 次募集は申請なし

< 交付企業一覧 >

(単位:円)

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)ハマネツ (浜松市中区)	上海生態環境保護建設展示会	500,000
2	QUICCO SOUND(株) (浜松市北区)	The 2021 NAMM Show	出展中止
3	(株)ジーアクト (浜松市浜北区)	Medical Design & Manufacturing WEST 2021	出展中止
4	(株)オノックスエムティー ティー (浜松市浜北区)	Medical Design & Manufacturing WEST 2021	出展中止

5	沢根スプリング(株) (浜松市南区)	Medical Design & Manufacturing WEST 2021	出展中止
6	仲山貴金属鍍金(株) (浜松市北区)	Medical Design & Manufacturing WEST 2021	出展中止
7	シナジーオプトシステム ズ(株) (浜松市西区)	OFC 2021	出展中止
合計			500,000

(2) 海外進出サポート事業

浜松市が企画する海外見本市の共同出展に対し、出展企業の海外展開における販路開拓や事業拡大に係るサポートをジェトロ浜松と連携し、アドバイス等を行う。

<浜松市ブースを出展する国際見本市>

ア CONPAMED 2020 (医療) ※事業推進部対応

会期：令和2年11月16日(月)～19日(木)

会場：ドイツ ノルトラインヴェストファーレン州 デュッセルドルフ見本市会場

※新型コロナウイルス感染症の影響により、浜松市出展中止

イ 2020 楽器フェア (楽器) ※事業推進部対応

会期：令和2年10月2日(金)～4日(日)

会場：東京ビックサイト

※新型コロナウイルス感染症の影響により、浜松市出展中止

ウ Photonics West 2021 (光・電子) ※フォトンバレーセンター対応

会期：令和3年1月26日(火)～28日(木)

会場：アメリカ カリフォルニア州 サンフランシスコ モスコーンセンター

支援企業：－ (4社)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、浜松市出展中止

(3) 海外認証取得支援事業

海外へ事業展開を検討する地域のものづくり製造業者に対して、海外認証取得(CE、UL)に関する現状と今後について理解できる啓発セミナー及び具体的に取得を検討している中小企業への個別相談を開催し、欧州・北米への海外展開を支援した。

ア 海外認証取得サポートセミナー

開催日：令和2年11月30日(月)

会場：WEB開催

講師：(株)GSA(大阪府大阪市) 顧問 石井 満 氏

内容：海外認証取得に関する一般的な検討事項や事例を紹介

参加料：無料

参加者：20社38名(定員：20名)

イ 海外認証取得サポート個別面談

開催日：セミナー実施後

会場：対象企業

専門家：(株)GSA(大阪府大阪市) 顧問 石井 満 氏

内容：セミナー参加企業より認証取得に関心が高い企業を対象に専門家派遣を実施

参加料：@16,500 円（専門家派遣負担金）

参加者：一社

※新型コロナウイルス感染症の影響により、個別面談の実施が難しくなったため、地域企業の課題を事務局が吸い上げ、専門家と連携して財団がアドバイスをを行った。（3 社 13 案件）

【成果指標】

項目		実績		指標
		令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
国内	出展企業数	53 社	21 社	55 社
	商談成立件数	112 件	10 件	55 件
海外	出展企業数	8 社	1 社	10 社
	商談成立件数	5 件	0 件	10 件

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

2.1 マッチング支援事業

決算額 75,798 円（予算額 2,266 千円）

＜財団自主＞

決算額 165,084 円（予算額 1,222 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松地域の中小企業に対して、大手企業等との商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

【年度総括】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オープンイノベーション関連のイベントが中止となるなど、大手企業ニーズの吸い上げが難しくなった面もあるが、以前から当財団と繋がりを持っている大手企業とのWEB面談や、県西部地域に研究開発の拠点を持つ大手企業との個別面談等を通じて、地域中小企業とのマッチング機会を提供した。また、マッチングの成約率を上げ、地域企業の販路拡大を図るため、フォトンバレーセンター及び次世代自動車センターのコーディネーターと連携し適切なフォローを実施した。

令和3年度も、各機関と連携しながらマッチング候補企業との調整を行い、地域企業と親和性の高いマッチング方法を検討する。

【実施内容】

(1) 大手企業とのマッチング商談会

＜フォトンバレーセンター・次世代自動車センター連携事業＞

静岡県西部地域（7市1町）と連携し、浜松地域の優れた技術を持つ企業（受注企業）と新たに技術連携や事業連携、取引等を希望する大企業・商社・発注企業とのマッチング商談会等を開催した。商談会では、自動車部品・産業用機械・宇宙産業・医療機器・航空機・電子機器・環境分野等の大手企業を浜松へ招致し、多くのパートナーと出会えるチャンスを創出した。

また、輸送用機器関連分野を主対象に、輸送用機器大手メーカーなどが取り組んでいる製品開発や工程改善などで抱える課題解決に役立つ技術・製品ニーズと浜松地域の中小企業の技術・製品シーズのマッチングを創出する機会を設けた。

ア ダイキン工業(株) (滋賀県草津市)

開催日：令和 2 年 10 月 22 日 (木)

会 場：WEB 開催

内 容：個別面談会

形 式：技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

参加者：3 社 [市内] 企業 2 社、[市外] 企業 1 社

成 果：協業検討中 ※令和 3 年 3 月末時点

イ ミネベアミツミ(株) 浜松工場 (袋井市)

開催日：令和 2 年 8 月から随時実施

会 場：ミネベアミツミ(株) 浜松工場及び地域企業

内 容：個別面談会

形 式：技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

参加者：8 社 [市内] 企業 5 社、[市外] 企業 3 社

成 果：商談成立 3 件、NDA 締結 7 社 ※令和 3 年 3 月末時点

ウ 大成建設(株) (神奈川県横浜市)

開催日：令和 2 年 5 月から随時実施

会 場：地域企業

内 容：個別面談会 (WEB 形式)

形 式：技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

参加者：2 社 [市内] 企業 2 社、[市外] 企業 1 社

成 果：NDA 締結 2 社、見積依頼 1 件 ※令和 3 年 3 月末時点

エ その他、販路開拓及び協業に係るマッチング支援 (地域企業×地域企業など) は随時実施した。

(2) 特定メーカー企業向け商談会 (浜松商工会議所との連携事業)

浜松地域の主要産業である輸送機器関連分野の受注拡大、更には既存技術の応用による新事業分野への展開に向け、商工会議所との連携により、特定のメーカー企業を対象とした個別商談会を実施し、浜松地域企業の販路開拓及びビジネスマッチングを支援する。商談相手は自動車関連をはじめとする県外の手元メーカーにターゲットを絞り、参加企業は三遠南信地域の企業約 50 社を公募・選考する。

※令和 2 年度の当該事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、次年度へ延期となった。

「三遠南信地域 新技術・新工法展示商談会」

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止 (次年度へ延期)

会 場：シンフォニアテクノロジー(株)豊橋製作所 (愛知県豊橋市)

内 容：大手企業とのマッチング技術商談会

主 催：浜松商工会議所

共 催：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構、豊橋商工会議所、
(公財) 南信州・飯田産業センター

出展社：遠州地区 1 社、東三河地区 1 社、南信州地区 1 社、他 1 社

来場数：1 名 ※大手企業、グループ企業等

成 果：商談成立 1 件、試作依頼 1 件、見積依頼 1 件、後日企業訪問 1 件

※次年度向けプレセミナーを令和 3 年 1 月 28 日 (木) 開催

- ・令和元年度 11 月に実施した「ナブテスコ(株)展示商談会」における約 1 年後の成果調査：商談成立 9 社 15 件、施策依頼 5 社 8 件、見積依頼 13 社 27 件、
後日企業訪問 34 社 34 件 ※令和 3 年 3 月末時点

(3) 浜松地域マッチング技術商談会への出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の活動内容や支援メニューなどをPRする場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチング推進などを行う。また、県西部エリアで実施されているマッチング商談会への出展に伴い、各市町と連携支援を実施する。

※令和2年度の当該事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、次年度へ延期となった。

ア 第2回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2020

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

会場：WEB展示会（浜松いわた信用金庫 HP 内）

内容：今年度はWEB展示会へ変更して実施。特設サイト内に企業情報を掲載し、自社技術のPRを行った。

出展社：486社（WEB掲載）

イ 第10回産業振興フェア in いわた

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

会場：WEB展示会（磐田商工会議所 HP 内）

内容：今年度はWEB展示会へ変更して実施。特設サイト内に企業情報を掲載し、自社技術のPRを行うとともに、その後事務局がマッチング支援を行った。

出展社：185社（WEB掲載）

(4) 販路開拓コーディネート支援プログラム

優れた新商品（新製品・新技術）を持ちながら、具体的な市場が顕在化していない、販路開拓の足掛かりが欲しい等、自社単独では販路開拓が困難な地域中小企業を対象に、経営支援NPOクラブ（東京都）等と連携を図り、大手企業とのマッチングまでを伴走型で支援した。

ア 経営支援NPOクラブ（東京都）

公募期間：新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度へ開催延期

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室 他

内容：①支援企業の製品、技術の特徴や強みを分析
②セールスポイントを含めたプレゼン資料のブラッシュアップ
③各社候補企業2社とマッチング及びフォローアップ

負担金：1社30千円

支援企業：1社

イ ミネベアミツミ(株) 浜松工場（袋井市）

開催日：令和2年8月から随時実施

会場：ミネベアミツミ(株) 浜松工場及び地域企業 等

内容：個別面談会

形式：技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

参加者：8社 [市内] 企業5社、[市外] 企業3社

成果：商談成立3件、NDA締結7社 ※令和3年3月末時点

ウ ミネベアミツミ(株) 軽井沢工場（長野県）

開催日：令和3年7月頃 《予定》

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期

内 容：個別面談会

形 式：技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
「新技術・新工法展示商談会※3」商談成立件数	2 社	1 社	5 社
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	2 件	3 件	5 件
マッチング件数	83 件	52 件	—

※1：令和2年3月末日時点、※2：令和3年3月末日時点

※3：浜松商工会議所連携事業

2.2 海外ビジネス展開支援事業

決算額 1,500,504 円（予算額 2,002 千円） <浜松市受託>

【目的】

海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援することにより、地域産業のグローバル展開を促進するとともに、新事業分野への参入の可能性を拡張する。

【年度総括】

令和2年度の海外展開事業化可能性調査費補助金では、サービス関連企業の海外進出など3件の採択を行った。調査先はタイ、ベトナム等のアジア圏が多く、それぞれ現地のニーズ調査や拠点候補先の選定等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により渡航が困難であったため、若干の遅れは見られたものの、WEB等を活用し、調査を完了させ、いずれの案件も海外展開を進める予定となった。

今後は、詳細調査に移行する等、具体的な海外展開についてステップを進める予定である。過年度に採択された企業のフォローも含め、引き続き地域企業の海外展開を後押ししていく。

【実施内容】

(1) 海外展開事業化可能性調査費補助金（海外FS補助金）

浜松市内の中小企業者が、技術や製品の強みを核にアジア地域等への海外進出を目指して実施する事業化可能性調査に対して補助金を交付することにより、当該企業の支援を図った。

公募期間：[1次] 令和2年4月15日（水）～5月29日（金）

[2次] 令和2年7月1日（水）～7月31日（金）

[3次] 令和2年8月7日（金）～9月4日（金）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者2人以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2

補 助 額：上限500千円

対象経費：国内外において実施する調査委託費用・専門家への相談費用など

申請件数：[1次] 2件、[2次] 1件、[3次] 1件

採択件数：[1次] 2件、[2次] 1件、[3次] 1件

事業期間：交付決定後～令和3年2月28日（日）

交付決定額：[1次] 1,000,000 円（2件）、[2次] 500,000 円（1件）

交付確定額：[1次] 1,000,000 円（2件）、[2次] 500,000 円（1件）

※3次募集は申請なし

< 交付企業一覧 >

[1 次]

(単位:円)

1	企業名	(株)GMJ（浜松市中区）	確定額	500,000
	[対象国] タイ王国			
	[内 容] タイ王国での販売拠点設立と販路開拓に係る調査			
	[成果と今後] 現地店舗数や売上状況及び販売単価の調査結果から、タイへの進出が見込めると判断できた。また、それに伴う販売拠点候補についても、利便性や治安の高さ、固定費等の条件に合う候補地を絞り込むことができた。今後は、更なる現地調査にて販売拠点の候補地を決定し、海外進出に向け準備を進めていく。			
2	企業名	(株)カタナコーポレーション （浜松市北区）	確定額	500,000
	[対象国] アメリカ、オランダ、台湾			
	[内 容] リアルタイム可逆圧縮システム CVC シリーズの海外半導体製造業界への販路開拓に係る調査			
	[成果と今後] 当社製品に対する具体的なニーズの把握ができた。今後はターゲット層が来場する海外展示会出展を通じて直接販売を目指す。			
計				1,000,000

[2 次]

(単位:円)

1	企業名	(株)イーアシスト（浜松市中区）	確定額	500,000
	〔対象国〕 ベトナム社会主義共和国			
	〔内 容〕 日本製サプリメントの海外（ベトナム）販売における市場調査及び海外拠点設立に係る調査			
	〔成果と今後〕 ベトナムでの市場動向（人気サプリメント、現地販売における許認可、商慣習等）を把握することができた。今後は、現地での直接販売を目指し、協力企業によるテスト販売と販売許可申請を進める。			
計				500,000

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和元年度※1	令和2年度※2	令和2年度
海外 FS 補助金申請件数	6 件	3 件	4 件
海外 FS 補助金提案採択件数	5 件	3 件	4 件

※1 : 令和2年3月末日時点、※2 : 令和3年3月末日時点



公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation